



(社) 鹿児島県放射線技師会

# 会報

平成25年2月

第117号



社団法人 **鹿児島県放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11  
TEL 099-248-0028  
FAX 099-248-0028



## 目 次

巻 頭 言	「年頭のあいさつ」	
	(社)鹿児島県放射線技師会 会長 池田 睦	1
	「鹿児島県放射線技師会 公益社団法人移行決定	3
	日本放射線技師会 鹿児島県放射線技師会 会費同時徴収について	6
	平成 24 年度 (社) 鹿児島県放射線技師会通常総会・春季学術大会(ご案内)	7
会 告	平成 24 年度 第 92 回通常総会について	8
	平成 24 年度 (社) 鹿児島県放射線技師会 春季学術大会	
	会員研究発表の演題募集	9
	レントゲン週間イベント 特別講演	10
	岡田淳徳氏 叙勲祝賀会	11
お知らせ	「優秀賞」おめでとうございます	12
	漏洩線量測定事業について	
ご案内	『鹿児島県診療放射線技師 女性の集い』イベントのご案内	13
理事会議事録	平成 24 年度 第 3 回理事会議事録	15
	第 4 回理事会議事録	19
	第 5 回理事会議事録	22
報 告	平成 24 年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会 兼	
	第 21 回北薩支部研修会・総会 終了報告	26
	会員発表	
	高齢化の進展に対応した安全で確実な医用画像検査の確立に向けて	31
	～医療情報とマネジメント面からのアプローチ～	
	半月板損傷の診断における MRI の有用性～関節鏡所見との比較～	35
	頭頸部 3 DTOF-MRA に於いて偽陽性所見を呈した一症例	38
	胸骨正面撮影における検討	40
	冠動脈 CT における $\beta$ 遮断薬の使用経験	43

---

平成24年度第11回鹿児島支部研修会報告 .....	46
平成24年度 リーダー育成研修会(開催報告) .....	51
市民健康祭り .....	52
平成24年度 診療放射線技師基礎技術講習 MRI (開催報告) .....	53
会計だより .....	54
編集後記 .....	55
理事・監事名簿 .....	56
広告掲載一覧 .....	57

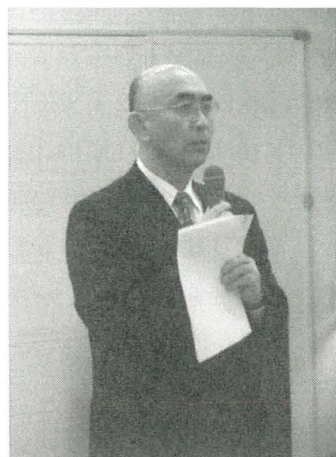
## 年頭のあいさつ

(社) 鹿児島県放射線技師会会長 池田 睦

## 巻頭言

新年の幕開けに際してご挨拶申し上げます。

平成23年10月に定款改定の臨時総会を行い、WEB会議にて鹿児島支部を中心に合計5支部を中継して不可能と思われた臨時総会を成立させ、公益社団法人移行に必要な定款改定を行いました。平成24年度は、その定款改定を基にして公益社団法人の申請書作りに邁進しました。公益社団法人申請の窓口は鹿児島県保健医療福祉課医務係であり、連絡を取りながら合計7回の申請書に必要な書類のやり取りを行いました。その結果、平成24年12月21



日に公益社団法人審査会を受審し、平成24年12月25日付けで鹿児島県放射線技師会の公益社団法人移行の「認定基準適合の答申書が」県知事宛てに提出されました。これにより、平成25年4月1日付けでの「公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会」がスタートする事が可能となりました。処分通知(認定通知)は公益社団法人が平成25年4月1日にスタートする関係上(認定通知後2週間以内に登記する必要があるため)、3月の中旬くらいにいただく予定です。その間に法務局への登記の準備をいたします。

思い起こせば、平成20年に社団法人の廃止の通達が総務省より出され、リミットは平成25年12月までの5年間の移行期間がもたれました。鹿児島県放射線技師会は平成21年度に新執行部になりましたが、西本前会長時代に公益法人移行の諸問題(最大の問題は定款改定)が提起されており、その解決の方法等もある程度は筋道を作っていたいただいております。本格的に公益法人移行へ動き出したのが平成22年の3月くらいからでした。総会や各支部研修会で公益社団法人移行の必要性を発言し、鹿児島県会員の方々に周知して貰う事から始め、定款改定の臨時総会開催の準備を進めました。

定款改定は県の医務係に数回に亘り足を運び、WEB会議の可能性を一緒に検討して貰い実現する方向で検討を重ね、平成23年10月の臨時総会開催に漕ぎ着けました。

全国の放射線技師会も続々社団法人から新法人へと移行しておりますが、一般社団法人と公益社団法人への移行は半々のようです。公益社団法人移行は団体の社会的地位から言えば一般社団法人に比べるとはるかに大きく、またその社会的責任も大きくなります。鹿児島県放射線技師会の将来を考えた場合、公益性の大きな社会的地位の高い団体としての事業を引き続き行う事で、さらに社会的な位置づけを確固たるものに築き上げる必要があります。公益社団法人に移行後はその社会的な活動が審査されてきます。より公益性の高い事業展開を行う必要がありますが、公益法人申請時においては現在までの活動が公益性が高いと評価されて認定されておりますので、これからもこの事業を継続することが重要と思われま

平成25年4月1日付けで公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会が成立予定ですが、公益

社団法人移行に伴う事務手続き上、移行前まで3月に行われておりました予算総会は平成25年度になって行う事となっています。従いまして、平成25年度の予算総会は4月21日(日)に鹿児島大学医学部で10時より開催いたします。開催案内は別途お知らせいたします。

平成25年のこれからの予定ですが、1月27日(日)に診療放射線技師の業務拡大の一環の抜針講習会を鹿児島大学病院で開催いたします。2月2日には大島支部研修会、2月16日(土)、17日(日)に九州各県会長会議が沖縄で開催されます。平成25年度の九州地域放射線技師会の諸問題を討議します。2月23日(土)には南薩支部研修会、大隅支部研修会を開催いたします。

3月10日(日)には市民公開のレントゲン週間イベントを開催します。今回のレントゲン週間イベントは、骨粗鬆症の問題を取り上げ、超音波による骨密度測定と2つの講演会を予定しております。近いうちに皆様のご施設にも案内チラシが届くと思われます。たくさんの方の参加を期待しています。

3月16日(土)は鹿児島県の女性放射線技師の会を鹿児島市立病院で開催予定です。会員、非会員の区別なく参加して貰い、女性技師の現状を討論して貰います。

これからも執行部一同、微力ではありますが会務運営に努力してまいります。鹿児島県放射線技師会活動にご協力の程、よろしく願いいたします。

# 「鹿児島県放射線技師会 公益社団法人移行決定」

平成24年12月21日開催されました「公益法人審査会」において平成24年12月25日付けで「鹿児島県放射線技師会が「公益社団法人認定の基準に適合する」と認められる答申書(別紙)が鹿児島県知事宛てに提出されました。

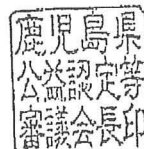
これにより、平成25年4月1日付けで「公益法人鹿児島県診療放射線技師会」が誕生する予定です。鹿児島県放射線技師会会員の皆様方、公益法人移行へのご協力に大変感謝いたします。

平成24年12月28日  
鹿児島県放射線技師会  
会長池田睦

鹿公審第45号  
平成24年12月25日

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎 殿

鹿児島県公益認定等審議会  
会長 宮 廻 甫 允



答申書

平成24年12月20日付け保福第556号をもって鹿児島県公益認定等審議会に諮問があった件につき、下記のとおり答申します。

記

上記諮問に係る別紙記載の法人については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第100条に規定する認定の基準に適合すると認めるのが相当である。

1. 法人コード：A018327
2. 法人の名称：社団法人鹿児島県放射線技師会
3. 認定を受けた後の法人の名称：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会
4. 代表者の氏名：池田 陸
5. 主たる事務所の所在場所  
鹿児島県鹿児島市東坂元四丁目28番11号
6. 公益目的事業  
県民への診療放射線の内容、その安全管理及び放射線一般（放射能を含む。）に関する知識の普及啓発及び広報活動、非会員も含めた診療放射線技師の資質向上、自治体等の要請によるへき地を含めた医療施設等への技術的支援や診療のための支援
7. 収益事業等  
該当なし
8. 旧主務官庁の名称：鹿児島県知事

# 日本放射線技師会 鹿児島県放射線技師会 会費同時徴収

会費同時徴収に関しては、平成24年6月9日(土)に開催されました第91回鹿児島県放射線技師会通常総会において議事議案第5号 会費同時徴収に関する項において総会で議決されました。この事を踏まえ、次年度の平成25年度より日本放射線技師会会費と鹿児島県放射線技師会会費、九州地域放射線技師会会費の同時徴収が始まります。

現在の鹿児島県での会員数は日本放射線技師会会員472名(平成24年1月1日日本放射線技師会調査数)、鹿児島県放射線技師会会員425名であり、会員数が同一ではありません。日本放射線技師会定款第3章第5条1号に「正会員は都道府県放射線技師会に所属する技師」と規程されていますので日本放射線技師会会員であれば同時に県の放射線技師会に入会する必要があります。

平成25年度は日本放射線技師会より会費納入案内がお手元に届きます。何卒、よろしくお願ひ致します。

平成24年12月28日

鹿児島県放射線技師会 会長池田睦

# 平成24年度（社）鹿児島県放射線技師会 通常総会・春季学術大会（ご案内）

謹啓

早春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の事業運営にご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、平成24年度 社団法人鹿児島県放射線技師会 第92回通常総会、春季学術大会を開催致します。ご多忙とは思いますが、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

敬具

## 日 程

日 時 : 平成25年4月21日（日） 10時～13時

場 所 : 鹿児島大学医学部保健学科 講義棟6F インテリジェント講義室

## プ ロ グ ラ ム

【第92回通常総会】	10時 ～ 11時	
【鹿児島支部総会】	11時 ～ 11時15分	
【会員発表】	11時20分 ～ 13時	(5～10題を予定しています)

以上

問合わせ先 : (099) 275 - 5664 鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門 藤崎、藤坂

## 平成24年度 第92回通常総会について

表記について、下記のとおり通常総会を開催します。

平成25年度の事業計画と予算を決定する重要な総会です。ご多忙と存じますが万障繰り合わせの上、ご出席くださるようご案内申し上げます。

また、どうしても参加できない場合は、必ず委任状を提出していただきますよう、お願い申し上げます。

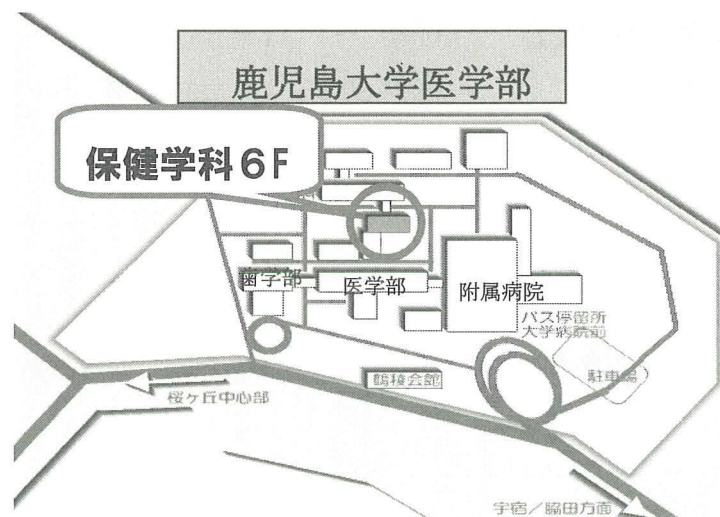
日 時 : 平成25年4月21日(日) 10:00~11:00

会 場 : 鹿児島大学医学部保健学科 講義棟6F インテリジェント講義室

議 題 : 平成25年度事業計画及び予算について

\*都合がつかずに欠席する場合は、必ず同封の官製はがきの委任状を記載して投函してください。(3月29日必着)

### 会場地図



\*大学入口に遮断機付ゲートが設けられているため車の通行は制約されています。

車でお越しの方は、ロータリーとなっている入り口に注意して入り、駐車場をご利用ください。

\*駐車券は総会受付までお持ちください。

平成24年度(社)鹿児島県放射線技師会 春季学術大会  
会員研究発表の演題募集のお知らせ

早春の候、会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素より、鹿児島県放射線技師会活動へのご理解とご支援頂きまして有難うございます。

さて、恒例により、平成25年4月21日(日)に、平成24年度社団法人鹿児島県放射線技師会春季学術大会及び第92回通常総会を開催致します。つきましては、会員研究発表を下記要項で募集致します。是非、この機会に日頃の研究成果、日常の撮影技術の工夫点等を会員の皆さんへ報告して頂ければと考えています。ご協力宜しくお願い致します。

記

発表日時：平成25年4月21日(日) 11:20～13:00

会場：鹿児島大学医学部保健学科 講義棟6F インテリジェント講義室

発表要項：PCを利用した口述発表

発表時間：発表7分、質疑：3分

演題締切日：平成25年4月8日(月) 必着

申込方法：発表内容を【目的】、【方法】、【結果】、【結論】等の順に記載し、40字×10行(400字)以内で作成し下記へメール又は、郵送して下さい。

メールアドレス：kart-gakujutu@hotmail.co.jp

住所：〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35-1

鹿児島大学病院 放射線部 藤崎拓郎まで

注) 演題申込された方には、受理メール又は電話を必ず差し上げます、  
演題申込して、返事がない場合は、下記へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 TEL099(275)5664(放射線部受付) 学術担当理事 藤崎まで

入場無料

## レントゲン週間イベント 市民公開講座

### ～骨についてここが知りたい～

＜鹿児島県放射線技師会生涯教育講座＞

日 時：平成25年 3月 10日(日)13時20分より

場 所：鹿児島商工会議所 アイムビル 4階 アイムホール  
鹿児島市東千石町1-38

【健康検査】 (13:20-14:50) 90分

「骨密度測定」体験コーナー (☆先着 90名様)  
社団法人鹿児島県放射線技師会

《開会の挨拶》 (14:50～) 社団法人鹿児島県放射線技師会 会長 池田 睦

【講演】

座長 社団法人鹿児島県放射線技師会 会長 池田 睦

講演1(15:00-15:30) 30分

～診療放射線技師の立場から～

「骨密度測定の原理

－X線・超音波を使った測定の相違点について－

JA鹿児島県厚生連健康管理センター

原口 誠 先生

講演2 (15:30-16:20) 50分

～医師の立場から～

「骨粗鬆症の特徴と対策

－健やかなエイジングのために－

鹿児島大学病院 整形外科

山元 拓哉 先生

◇ 臨床写真等のパネル・3D画像の展示およびDVD放映

◇ 「放射線」に関する相談コーナーの設置

皆様のご来場をお待ちしております。

◇ 共催：社団法人鹿児島県放射線技師会／エーザイ株式会社

## 叙勲受章おめでとうございます

### 岡田 淳徳 先生

秋の叙勲が発令され、当会会員の岡田 淳徳 先生（68歳・元鹿児島大学歯学部附属病院診療放射線技師長）が受章されておられます。

会員一同心よりお祝い申し上げます。

### 祝賀会のご案内

#### 瑞宝双光章受章 岡田 淳徳 先生

上記のとおり、岡田 淳徳 先生が瑞宝双光章を受章される事となりました。先生はもとより、私たち鹿児島県放射線技師会会員一同にとりましても、誠に喜ばしいことでもあります。

つきましては、受章をお祝い申し上げたく、下記のとおり祝賀会を開催いたします。ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご参集いただきますようご案内申し上げます。

#### 記

日 時：平成 25 年 3 月 10 日（日）18:00～

会 場：パレスイン鹿児島

鹿児島県鹿児島市樋之口町 8-2

TEL 099-223-1111

会 費：6,000 円

\*準備の都合上、同封の官製はがきにて

平成 25 年 3 月 1 日（必着）までに

ご返事下さいますようお願いいたします。



## ★★ 「優秀賞」おめでとうございます ★★

さる、平成24年11月に開催されました第7回九州放射線医療技術学術大会（長崎）において、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センターの瀬筒美紀さんが発表された演題名「負荷心筋シンチグラフィ検査における負荷の現状調査」が見事、優秀賞を受賞されました。

これは、発表者の努力はもちろん、共同演者の指導や、所属施設仲間の協力の賜物と思われまふ。優秀な演題のエントリー有難うございました。

この賞は、第7回九州放射線医療技術学術大会にエントリーされた全演題の内、放射線技師会所属の会員の発表者の中から、各県より選考され推薦された演題を、当日、内容（独創性、発展性、貢献性等）、発表、質疑への対応等数項目の審査が、各県教育委員、座長らにより行われ、総得点の高い演題1題に与えられる賞です。

表彰は、全国診療放射線技師学術大会（今年は島根県）で全国の地域ごとに選ばれた優秀演題と一緒に九州地域で選出された優秀演題として表彰されます。

実は、この賞は、今回で3回目の選出となりますが、1回目に受賞された鹿児島大学病院の元日田調さんに次ぐ快挙となりました。従って、3回のうち2回が鹿児島から選ばれていて、鹿児島からの演題は非常にレベルの高いものとなっています。是非、彼女等に続き、次回、第8回の大会（佐賀県開催）でも鹿児島から優秀演題を出したいと思ふますので、みなさまからの多くの演題エントリーをお願い致します。

## 漏洩線量測定事業のご案内

（社）鹿児島県放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓蒙を兼ねた環境測定事業を行っています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣会員の2名で実施する予定です。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円＋測定料1方向5千円（その他の施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円）となっています。

測定希望の施設がありましたら、見積等をご提示しますので、下記へお問い合わせ下さい。

（社）鹿児島県放射線技師会事務局 鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門  
（099-275-5664） 放射線管理士部会 担当 藤崎

平成25年1月吉日

女性診療放射線技師・関係各位 様

(社)鹿児島県放射線技師会  
 会長 池田 睦  
 鹿放技女性の集い運営委員会  
 新村 栄次

## 『鹿児島県診療放射線技師 女性の集い』イベントのご案内

謹啓、新春の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、下記日程で「鹿児島県診療放射線技師 女性の集い」の開催をいたします。

本イベントは、鹿児島県放射線技師会主催の、鹿児島県の女性診療放射線技師を対象といたしました集いです。初となります今回のイベントは、女性技師同士互いに知り合い・交流することを主旨に、研修の要素も組み入れ、知識を深めつつ和気あいあいと楽しく交流していただくこと、企画いたしました。

平成23年・24年と、JART主催で各県代表の女性診療放射線技師による「女性サミット」が開催され、女性技師についての問題や活躍・発信等の討議が行われました。厚生労働省では「ポジティブ・アクション」という女性活躍推進の取り組みも行われております。鹿児島県でも若い女性技師の増加は顕著であり、それに伴い女性技師の活躍が、医療現場や学術の場において、そして社会からも、ますます求められてきていると、みなさま肌で感じているのではないのでしょうか。このような期待に応えていくことも見据え、まずはその第一歩として、互いに繋がり、情報交換して交流を深めることができればと考えております。

会員・非会員を問わず全ての女性診療放射線技師が対象です。女性技師のみなさま、お誘い合わせのうえ、こぞって参加いただくようお願い申し上げます。 謹白

開催のご案内

## 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

女性技師同士、互いを知り合い、交流を深めましょうイベント

●平成25年3月16日(土)15:00～18:00

●鹿児島市立病院3号館4F視聴覚室

●主な内容

平成24年度女性サミット参加報告  
 女子就職状況からよみとれること  
 人工乳房のおはなし(人工ニップル製作体験あり)  
 MMG施設紹介

●対象

鹿児島県の女性診療放射線技師  
 (会員非会員全ての女性技師)

★18:30より情報交換会(3300円)も企画しています

主催:鹿児島県放射線技師会

お問い合わせ: 徳久整形外科 松野下直美

お誘い合わせのうえ  
 こぞっての参加をおねがいします

鹿児島県放射線技師会 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship

鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship

鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship 鹿児島県診療放射線技師女性の集い Kagoshima RT Women's Fellowship

開催のご案内

# 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

女性技師同士、互いを知り合い、交流を深めましょうイベント

日時：平成25年3月16日(土) 15:00~18:00

場所：鹿児島市立病院3号館4F視聴覚室  
〒892-8580 鹿児島市加治屋町20-17 TEL:099-224-2101

駐車場：市立病院の駐車場は、患者様・ご家族・お付き添い他のみみなさまに利用いただくほかに余裕がありません。自動車の方は、近隣のコインパーキングを御利用ください。今回、駐車場に関して運営委員会からお世話することはありません。ご了承ください。

主催：(社)鹿児島県放射線技師会

参加対象：鹿児島県の全女性診療放射線技師(技師会会員・非会員を問わず)

参加費：無料

主な内容：〔報告〕平成24年度女性サミット報告 徳久整形外科 松野下直美  
各都道府県代表による女性サミットに参加して思う女性技師・女性の会について

〔講演〕女子就職状況からよみとれること 鹿児島医療技術専門学校  
女性技師に求められているものや女性技師の未来について、養成校の視点から

〔講演〕人工乳房のおはなし 池山メディカルジャパンより  
乳がん患者様のためのオーダーメイド人工乳房について

☆☆人工ニップル製作体験あり☆☆

〔発表〕MMG施設紹介 今給黎/相良/保健センター

※以上の主な内容の題名は確定しておらず、仮名称です。

終了後：情報交換会(希望者のみ参加費：3300円)

※情報交換会のみ参加も歓迎。

※予約人数把握が必要です。配付する出欠アンケート回答  
FAX票、または電話等で、事前申し込みをお願いします。

店名：博多餃子舎 603 天文館  
山之口町8-39 TEL:099-223-1603  
※市立病院から徒歩7分  
時刻：18:30~20:30

問い合わせ：徳久整形外科 松野下直美  
(鹿放技女性の会運営委委員会)

TEL:0993-53-4311 FAX:0993-53-4312

e-mail: tokuhisa@guitar.ocn.ne.jp



## 平成24年度(社)鹿児島県放射線技師会 第3回 理事会 議事録

期日：平成24年9月19日(水)

場所：技師会事務所 18:30～21:20

参加者：池田睦 新村栄次 藤崎拓郎 平田勝 鮫島宗俊 原口誠 佐藤洋一

大久保光男 石本裕二 中島祐二 藤坂智史

議事録署名人：池田睦 藤崎拓郎

## 【議題】

1. 医療画像情報精度管理士移行講習会 9月22日(土) 8時30分～12時40分

鹿児島大学医学部 第4講義室

講義、試験 試験・採点の方法

責任者：新村 実施者：大久保 中島

\*8:00集合 理事の服装は特に指定はなし

DVDを見て試験は○×形式10分 採点は新村 大久保

2. 北薩支部研修会・CT研究会 10月20日(土) 15時～18時

川内市医師会立市民病院 理事出席者 新村 大久保 原口 藤崎

\*副会長よりプログラムの説明有り 会長は前日宮城で間に合えば出席

\*CT研修会は新村副会長が担当

3. 市民健康まつり 10月21日(日) 10時～15時30分

鹿児島アリーナ パネル展示、放射線相談、USによる骨密度の測定

USは日立メディコに5万円で借用予定。

当日の朝に設置の予定であるが、まだ日立と話していない。

責任者池田 理事出席者 池田 新村 藤崎 中島 原口 平田

支部出席要請 鹿児島2 北薩2 大隅2 霧島2

合計14名 服装はワイシャツでOKです。

\* 8:30集合 駐車場は会場にあるが、会長が問い合わせる。

\* パネル、写真は藤崎理事が準備

\* USは一台で行う 骨密度に3人必要 PC係 US係 説明係

測定時間一人5分 5時間60名の予定 椅子は20脚 原口理事が整理券を作成

\*詳しい説明が必要な方は糖尿病の医師が対応してくれるのでそちらに行ってもらおう。

\*富士からビンセントを借りられないか会長が聞く

\*次回30回の講師としては順天堂大学の白澤教授に決定した。

4. 第7回九州放射線医療技術学術大会 座長選出

鹿児島県割り当て

MRI2：11月24日（土）10時～11時 浮田さん 今給黎総合病院

核医学：11月24日（土）9時～9時50分 藤坂さん 鹿児島大学病院

放射線管理：11月24日（日）10時～11時 西郷さん 鹿児島大学病院

教育：11月24日（日）10時～11時 平賀さん 霧島医師会立医療センター

\*会長より 座長名簿を長崎に送った。

5. 大島支部研修会でのCT研究会の開催（予定）

\*会長より 来年あります 支部長からまた連絡があります CT検討会を行いたい  
とのこと

【報告事項】

1. 第28回日本診療放射線技師学術大会 座長推薦

宮島隆一さん 鹿児島医療センター

\*会長より鹿児島事前登録8名 10名程度参加

2. 公益法人申請経過

2回目の申請書及び質問事項の回答書を提出

\*問題点 事務所の職員について

事務所建屋の積算根拠について

\*10月、11月あたりに審議会がある

\*公営法人化後は理事を20名にする。各支部長を理事にする。

\*各支部は別組織（助成金を出している事が公益法人申請に違反）ではないのでの会計は鹿児島県放射線技師会で一括する（助成金ではなく経費を支弁する）。

3. 日本放射線技師会査読者の推薦

鹿児島大学病院 西郷さん、豊田さん

\*会長より ハードルが高く 大学院に行っている兩名を推薦した。

4. 夜間急病センター研修会報告

\*平田理事より報告があった 別紙で報告があった。

\*山元医師の講演は非常に有用であった。

\*運営費について今後検討すべき

5. 南薩支部研修会報告

\*新村副会長より9/8ホテルとメディポリスで開催。

\*講演はレポートシステム会社

\*施設見学は非常に有用であった。

\*会場費が3時間24000円と高かった。

6. リーダー研修会予定

\*石本理事より10月13日 講師：熊本済生会病院 和田技師長

\*レクストインで14:30~15:20 支部長会議 15:30~16:45 講演会 その後懇親会

\*案内を石本理事が作成し9月の会報に別紙で入れて送付

\*会長より「この研修会を急病センター当直技師の研修会も兼ねる」との通達があった。

7. MRI 基礎講習予定

\*藤崎理事より11月4日(日)

8. 女性技師の集い予定

\*新村理事より8月2日今給黎病院で話し合いがあった。別紙で報告があった。

\*「(仮称)女性の会」 技師会の女性会員の名簿を藤坂が作成して、新村理事に提出

\*非会員も入会可能 大学からも1名運営メンバーに参加(谷本技師)

\*未定の部分もあるが、まずは3月に1回開催してみる。

9. 日本放射線技師会 永年勤続表彰(30年、50年)

\*池田会長より 昨年は富吉様、福島様であった。ホームページと会報で推薦を依頼している。

10. 注腸統一講習会報告

\*石本理事より 広島で行われた、ネラトンカテ、ファントムを用いたタイトなスケジュールであった。南風病院で行われて参加者20人程度 遠くは広島から参加していた。

【その他】

\*日本放射線技師会から女性サミット参加者要請 松野下様に依頼

\*会長より 九州地域放射線技師会について、九州会長会議で決まるが、池田会長が九州地域会長になる可能性がある。

\*藤崎理事より 九州地域研修会について次回福岡の後、H26年鹿児島で開催できるかについて 場所は中央駅近辺 多くて100名程度 運営には4~5人必要とのこと 平成26年は鹿児島で受けると返答することに決定した。

\*藤崎理事より 長崎学術大会の鹿児島からの推薦演題について

メールで抄録を理事に配布する。学術理事で推薦演題候補を決める。

\*平田理事より 教育訓練を技師会でできないか問い合わせがあったとのこと

神奈川でやっているらしいが、鹿児島では行う予定はない

\*藤崎理事より 抜針講習会について

大学の臨床実習室を確保する。参加者の昼食は各自に願います。

次回理事会について

11月14日(水)に開催する。

以上

議事録作成 総務担当 藤坂 智史  
議事録署名人 会長 池田 睦  
学術担当 藤崎 拓郎

# 平成24年度（社）鹿児島県放射線技師会

## 第4回 理事会 議事録

期日：平成24年11月14日（水）

場所：技師会事務所

参加：池田会長 新村副会長 原口理事 藤崎理事 藤坂理事 中島理事  
大久保理事 佐藤理事 鯨嶋監事

議事録署名人：池田 睦 藤崎 拓郎

### 【議題】

1. MRI 基礎講習準備 平成24年12月2日（日） 鹿児島大学病院第4講義室 （担当 藤崎理事）
  - \* 藤崎理事より 11月17日くらいまでで締め切り
  - 募集：50人 認定試験有（講義終了後）
  - 補佐：藤坂理事 中島理事 池田会長
2. 抜針講習会準備 平成25年1月27日（日）：（担当 藤崎理事）
  - \* 藤崎理事より 補佐 2人
  - JART 抜針委員会より参加あり
  - 12月に熊本で行われる抜針講習会を見学予定（藤崎理事）
3. 大島支部研修会でのCT研究会の開催（予定）平成25年2月2日（土）：
  - \* 中原支部長より内容の問い合わせ CT研究会 施設発表等
  - \* 理事参加：新村副会長 藤坂理事
  - \* 会長 大分県技師会の60周年記念に参加予定（平成25年2月3日）
4. 鹿児島県放射線技師会女性の会開催準備 平成25年3月16日（土）
  - \* 新村副会長より 場所：鹿児島市立病院 視聴覚室 15：00～
  - 世話人会 平成24年12月13日 開催予定（今給黎病院）
5. 平成24年度レントゲン週間イベント内容 3月10日（日）
  - \* 池田会長より 市民健康まつりで好評だった骨密度の測定と絡めて講演会を開くか？
  - 骨密度測定の原理、X線を使った測定とUS測定の相違点、ホルモンと骨密度（医師）
  - 会長がイベント内容を検討し後日報告
6. 平成25年度予算総会日程 昨年と同様にレントゲン週間と同日開催
  - \* 日程 平成25年3月10日（日）
  - \* 場所 午前中予算総会 午後からレントゲン週間 夕方から叙勲祝賀会
  - \* 時間 アイムビル（予定）9：00～17：00 祝賀会 パレスイン 17：30～
  - \* 岡田さんの叙勲祝賀会開催予定
7. 技師会事務所の大掃除

\*池田会長より 外溝の排水口が灰で塞がれている。

雨水が流れずに溜まっている（隣人から指摘受けた）

平成24年12月9or16日 午前中 9:00～（後日、藤崎理事より報告）

#### 8. 会報原稿の準備

\*池田会長より 会報・ニュース原稿を準備する（平成24年12月21日まで）

詳細は平田理事へ

#### 9・平成25年度抜針講習回の連絡（JART）

\*池田会長より 予定として平成25年度の1回の開催と連絡した。

#### 10. 日本放射線技師連盟支部

\*池田会長より 兵庫の技師会長が代表をしている。鹿児島は従来通り大久保理事が加盟

### 【報告事項】

#### 1. 医療画像情報精度管理士移行講習会 9月22日（土）8時30分～12時40分

\*藤崎理事より 鹿児島大学医学部 第4講義室 38人参加

#### 2. 北薩支部研修会・CT研究会 10月20日（土）15時～18時

\*新村副会長より 川内市医師会立市民病院 理事出席者 新村副会長 参加者 50人程度

#### 3. 市民健康まつり 10月21日（日）10時～15時30分

\*池田会長より 鹿児島アリーナ パネル展示、放射線相談、USによる骨密度の測定

\*原口理事より 整理券110枚が10分程度でさばけた 合計240人程度検査を行った。

\*池田会長より 来年度は装置を2台にして行った方がいいのではないかと（貸出料1台 5万円）

#### 4. 平成24年度秋の叙勲決定

\*池田会長より 岡田淳徳氏 瑞宝双光章受章 叙勲祝賀会の準備

叙勲祝賀会 平成24年3月10日開催予定

#### 5・平成25年度春・秋の叙勲候補

\*池田会長より 来年春 富吉 司 来年秋 梶 岩雄

### 【今後の予定】

#### 1. 第7回九州放射線医療技術学術大会 平成24年11月24日（土）、25日（日）

\*池田会長より 鹿児島県割り当て座長

MRI2: 11月24日（土）10時～11時 浮田さん 今給黎総合病院

核医学: 11月24日（土）9時～9時50分 藤阪さん 鹿児島大学病院

放射線管理: 11月24日（日）10時～11時 西郷さん 鹿児島大学病院

教育: 11月24日（日）10時～11時 平賀さん 霧島市立医師会医療センター

池田 JART4 学会講演座長 情報交換会乾杯

前回大会大会長、実行委員長の表彰 池田、新村

長崎の氏原会長より 焼酎を依頼される。

\*藤坂理事より 焼酎を2本送付

2. 鹿児島県臨床検査技師会60周年記念式典 平成25年1月26日(土)

\*会長参加予定

3. (公社)大分県放射線技師会60周年記念式典 平成25年2月3日(日)

\*会長参加予定

#### 【公益法人申請経過】

\*池田会長より 4回目の申請書及び質問事項の回答書を提出

PCの配布について 学会 研究会で使用する。公益法人になった場合、理事会はウェブで行う予定  
(病院・個人のPC)

PCについては、藤崎理事・中島理事に一任 インターネットへの加入は必要ないのではないか

#### 【その他】

\*池田会長より 総会の時に代議員選挙を行う予定。

\*池田会長より会員登録について ウェブでの登録がうまくいかないケースが続いていて、書面での  
JARTへの入会手続きも可能となる。県のホームページに載せて県技師に通達に行く。

\*池田会長より 県技師会のホームページの更新・内容の充実を早めにおこなう。

\*池田会長より 学術賞を鹿児島県技師会から2人推薦

\*藤崎理事より 平成24年12月22日 教育委員の会議がある。(藤崎理事)

\*次回理事会予定 1月新年会 平成25年1月18日(金) 19:00~理事会 19:30~  
新年会

新年会の場所は、佐藤理事が行う。

\*池田会長より 来年度の九州地域会長の選挙あり。

\*藤崎理事より 医療画像精度管理支部会研究会発足 (藤崎理事)

#### 次回理事会について

平成25年1月18日に開催する。

以上

議事録作成 総務担当 藤坂 智史  
議事録署名人 会長 池田 睦  
学術担当 藤崎 拓郎

# 平成24年度（社）鹿児島県放射線技師会

## 第5回 理事会 議事録

期日：平成25年1月18日（金）

場所：魚イヲ（新年会を兼ねて）

参加理事：池田 新村 鮫島 大久保 原口 藤崎 中島 藤坂

議事録署名人：池田 藤崎

池田：新年のあいさつ

### ○議題

#### 1. 平成25年1月27日（日）抜針講習会準備

藤崎：当日は、池田会長を責任者にして、藤崎、藤坂で、数名の大学の手伝いをお願いする。JARTから3名の実習補助の委員が来鹿する。実習の講師は、鹿児島大学病院の看護師部に依頼して3名で行われる。等の準備状況の説明があった。現時点でキャンセルがあり、JARTの好意により鹿児島県限定で5名再補欠募集して良いことになった。今4名補欠受講枠があるので、近くに受講したい会員がいたらメール下さい。

支部長宛にも募集をかける予定である。

#### 2. 平成25年2月2日（土）大島支部研修会の理事の派遣（新村、藤坂）

新村：参加します

藤坂：参加します。

会長：宿泊などわからなかったら、支部長の中原さんをお願いする。旅費は財務に請求する。

中島：財務了解しました。

#### 3. 平成25年2月23日（土）南薩支部研修会、大隅支部研修会の理事の派遣について

（南薩支部研修会：藤崎、平田、原口、大久保）

（大隅支部研修会：池田、中島、佐藤）

池田：日が重なるので、参加する人を振り分けました。今のところ変更なし。

よろしく申し上げます。

#### 4. 平成24年度レントゲン週間イベント内容

平成25年3月10日 アイムホール

骨密度の測定と絡めて講演会を開く

##### 1) 骨粗鬆症の診断及び予防と治療(仮題)

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院整形外科・リウマチ外科 講師 山元拓哉

##### 2) 骨密度測定の原理、X線を使った測定とUS測定の相違点(仮題)

J A鹿児島県厚生連健康管理センター 原口 誠

池田：講師と演題の説明 共催のエーザイさんと打ち合わせ中、1月下旬に広告発送

90分骨密度測定の後には講演を2題行う。

ファックスで受付をしてきた人に返事をする。(100名ほどの予定)

日立から2台測定器を借りる(1台5万円)問合せ先は大学にする。

中島：財務了解しました。

原口：講演は了解しました。演題名がメールで送ったものと違うので再確認をお願いします。

5. 平成25年3月16日(土) 鹿児島県放射線技師会女性の会開催準備

理事は全員出席

池田：理事は全員でお願いします。

新村：ホームページに載せました。

開催にあたって要望・質問が来ています。

PC係をお願いしたい

メーカーに講演料を払うのか

アンケートを出して出欠をFAXでもらいたい

メーカーさんに手伝ってもらってよいのか?

休憩時間のお菓子、飲料など

参加費を取るのか

参加証を出すのか?

池田：PC係了解、メーカーには講演料を払う メーカーさんの手伝いはできるだけしないで会員できるようにしてください 参加費は取ってもいい

中島：メーカー講演料は出してもよい。休憩時間のお菓子飲料代は出してもよい。

藤崎：日本診療放射線技師会の研修会カウントとして登録し、参加証を発行して良い。

6. 叙勲祝賀会 岡田氏には日程、会場を連絡

会報と共にハガキの準備

池田：岡田氏は元鹿児島大学病院歯学部技師長ということで、同門会と技師会の合同開催ということになる。同門会代表も池田が行っている。岡田氏と話し合い記念品なし、目録なしで行う参加費は宴会代のみとする。

大久保：宴会代は6,000円で大丈夫です。

藤坂：はがきの準備は行っている。メーカーには既に案内状を送った。

前例にならって、祝賀会マニュアルを作成する。役割分担、配置など決めたらメールで配信しますので確認をお願いします。

7. 平成25年4月21日 平成25年度予算総会 秋季学術大会

鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント室

今回の会報に出席案内のハガキを出す?

理事全員：会報に出席案内のはがきを同封することに賛成

藤坂：鹿児島支部より総会を合同で行いたいということでプログラムに組込みます。

昨年度と同様に支部研修会も学術発表と合同で行いたいということです。

池田：支部総会は行っていいが、支部研修会を学術大会と合同ということは聞いていない、鹿児島支部長に確認する。

## ○報告事項

### 1. 公益社団法人移行決定

池田：公益社団法人になることが決まりました。現在登記手続きの準備中です。

### 2. MRI 基礎講習結果

藤崎：12月2日（日）に8時30分より17時30分の1日、5名の講師を招いて鹿児島大学で開催された参加者は50名の募集に対し40名（達成率80%）であった。

### 3. 平成25年度秋の叙勲候補は梶氏

現在、提出書類の準備中

池田：申請書類を県に提出したところです。たぶん大丈夫でしょう。

## ○今後の予定

### 1. 鹿児島県臨床検査技師会60周年記念式典 平成25年1月26日（土）（池田出席）

池田：出席します。

### 2. （公社）大分県放射線技師会60周年記念式典 平成25年2月3日（日）（池田出席）

池田：出席します。

### 3. 九州会長会議 平成25年2月26日（土）、27日（日） 沖縄（池田出席）

池田：出席します。

### 4. 6月：平成24年度決算総会 公益法人祝賀会の準備

池田：総会と講演会と祝賀会を行います。日程を決めます。6月22日（土）にしましょう。

場所は総会から祝賀会までパレスインでしましょう。

大久保：会場の予約はしておきます。

## ○その他

藤崎：12月22日に日本診療放射線技師会本部で全国の教育委員を集めて教育委員会があり、参加して来ました。

内容は、25年度のJARTの活動予定とフレッシューズセミナー、基礎講座、その他研修会等の説明会が主でした。簡単に報告すると、特定看護師の指示で放射線検査が行える法案は、JARTの働き掛けで削除された。注腸、抜針等の法案は、夏に国会へ提出される見通しである。検診の場での医師の指示は、実情は行ってないのでアンケートを実施するので協力願いたい。その他、国へ陳情時に活用する実態調査のアンケートを全国に実施するので県放射線技師会からも賛同、協力をお願いしたい。

今年もフレッシューズセミナーを2月から8月に開催する。今回は、医療安全、院内

感染の研修としてベテランの会員にも活用してもらいたいと JART は考えている。なるべく会員の講師で開催して欲しいとの事。開催日は、学術に一任してもらいメールにて報告する。

診療放射線技師基礎技術講習は「一般撮影」又は「アンギオ」を予定しているが、九州各県との調整が必要であるので、学術に一任してもらいメールにて報告する。

藤坂：議事録を取るのに、誰が発言したかわかるようにボイスレコーダー、それと総務パソコンを持ち歩きたくないので、総務に議事録など移動用に1台ノートパソコンを購入してほしい

池田：必要なら購入してもいいです。外付けハードディスクもいいです。

中島：ボイスレコーダー、外付けハードディスクの機種を選んでください ノートパソコンは支部に支給するときに1台追加してそれを使ってください

藤崎：支部配布パソコンについて、ネット接続で常に Windows を更新しないとウイルス等の問題がある。しかし、ネット接続まで負担すると非常に経費がかかる。従って、年に2、3回、メーカー便等で県事務局の総務、学術で更新をする方法がベターではないかと考える。支部の方で接続できる環境があれば良いのだが。この件については、もう一度、支部長に問い合わせ、中島理事とも協議して購入を考えたい。

以上

議事録作成	総務担当	藤坂	智史
議事録署名人	会長	池田	睦
	学術担当	藤崎	拓郎

## 平成24年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会 兼

## 第21回北薩支部研修会・総会 終了報告

鹿児島県放射線技師会 北薩支部長 岡野三男

平成24年10月20日土曜日、川内市医師会立市民病院において平成24年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会と第21回北薩支部研修会・総会を同時開催しました。総参加人数48名（会員42名・非会員4名・メーカー2名）で遠くは霧島市から出席された会員の方もいらっしゃいました。

秋季学術大会は新村栄次県技師会副会長挨拶のあと会員研究発表からでした。演題は5題で症例提示にて日頃から質の高い情報提供に努力されている熱心な取り組みの状況や創意、工夫が伺えました。

次に県学術大会にて初めての試みであるCT研究会は講演の『CT造影理論～造影理論を理解しよう～』と施設発表&ディスカッション（腹部プロトコール）について3施設からの発表でした。

日常のCT検査での造影理論を理解し、各施設の腹部プロトコールなどについて情報収集ができました。

総会では秋葉裕史技師の議長進行により本年度の会計報告、監査報告、次年度事業計画などの説明でした。

最後に県技師会新村副会長、学術担当の藤崎理事、座長、演者の方々、また会場の川内市医師会立市民病院の大久保技師長をはじめ技師の方々へ深謝いたします。今後とも支部運営へ会員の皆様のご協力、ご支援を宜しくお願いいたします。

## 平成24年度 北薩支部 理事・監事

支部長（総務）	:	岡野三男	（医）杏林会 丸田病院
副支部長（財務）	:	田畑一文	県立北薩病院
理事（学術）	:	古田正成	出水総合医療センター
理事（学術）	:	前田健一郎	川内市医師会立市民病院
理事（福利厚生）	:	春口良久	（医）栄和会 寺田病院
理事（広報編集）	:	村野和久	済生会川内病院
監事	:	児玉康熙	済生会川内病院
監事	:	灰床利隆	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター

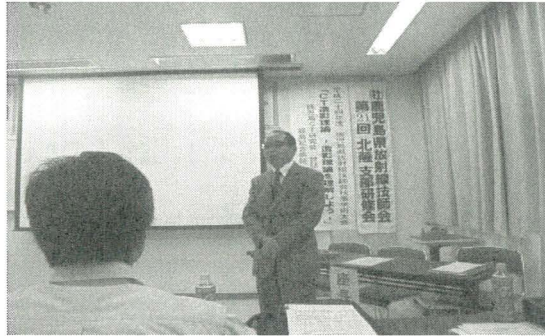
# 平成24年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会

## 第21回北薩支部研修会・総会

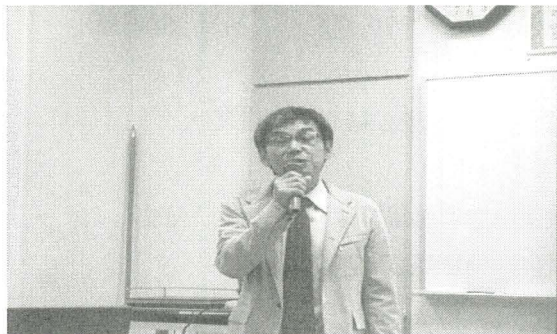
- 【1】 開会の挨拶 (社) 鹿児島県放射線技師会 北薩支部長 岡野 三男
- 【2】 会長挨拶 (社) 鹿児島県放射線技師会 副会長 新村 栄次
- 【3】 会員発表 座長 : 川内市医師会立市民病院 前田 健一郎
- ① 高齢化の進展に対応した安全で確実な医用画像検査の確立に向けて  
～医療情報とマネジメント面からのアプローチ～  
鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門 佐々木 雅史
  - ② 半月板損傷の診断におけるMRIの有用性 ～関節鏡所見との比較～  
新門整形外科 東條 昌樹
  - ③ 頭頸部3DCT-MRAに於いて偽陽性所見を呈した一症例  
いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 児玉 唯史
  - ④ 胸骨正面撮影における検討  
霧島市立医師会医療センター 池田 隆太
  - ⑤ 冠動脈CTにおけるβ遮断薬の使用経験  
川内市医師会立市民病院 沖中 裕幸
- 【4】 CT研究会 座長 : 今給黎総合病院 新村 栄次
- 1. 講演 『CT造影理論 ～造影理論を理解しよう～』  
鹿児島CT研究会 世話人 霧島記念病院 小浜 剛
  - 2. 施設発表 & ディスカッション (腹部プロトコールについて)
    - ① 済生会川内病院 荒武 俊平
    - ② 川内市医師会立市民病院 松永 大和
    - ③ 今給黎総合病院 新村 栄次
- 【5】 支部総会
- 【6】 閉会の挨拶 (社) 鹿児島県放射線技師会 北薩副支部長 田畑 一文



司会 田畑副支部長



岡野支部長 開会の辞



県技師会新村副会長 挨拶



前田座長にて会員研究発表



鹿大病院 佐々木技師



新門整形外科 東條技師



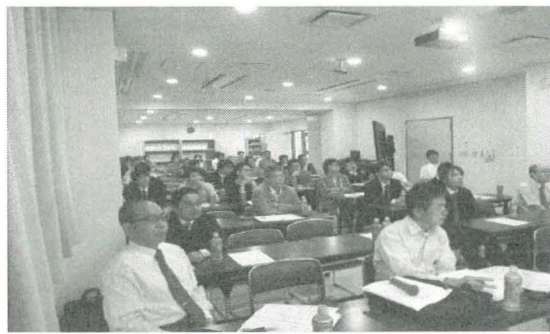
いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 児玉技師



霧島市立医師会医療センター 池田技師



川内市医師会立市民病院 沖中技師



会場



新村座長にて CT 研究会



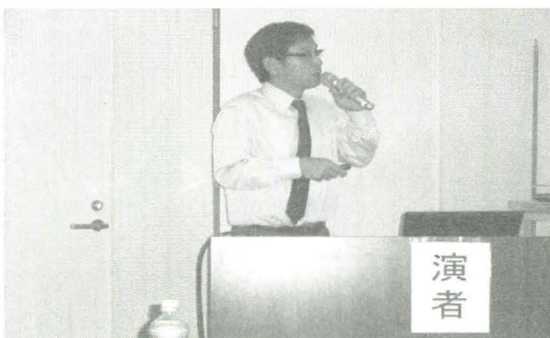
講演 小浜技師



済生会川内病院 荒武技師



川内市医師会立市民病院 松永技師



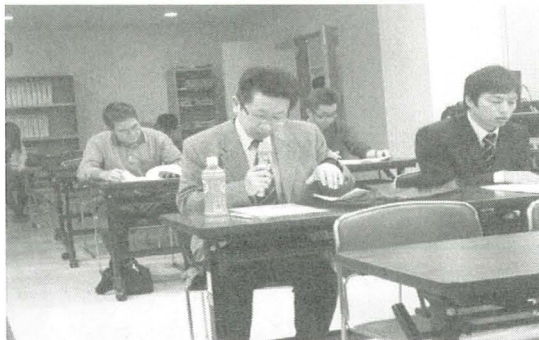
今給黎総合病院 新村技師



施設発表&ディスカッション



総会 議長 秋葉技師



総会 監査報告 灰床技師

## 出席者

### 【技師】 46名

川内市医師会立市民病院	9	大久保光男、前田健一郎、中村晋輔、沖中裕幸、秋葉裕史、 武宮 太、西園加奈子、松永大和、菌田大樹
済生会川内病院	4	村野和久、宇都浩一朗、荒武俊平、岡元 琢
県立北薩病院	3	田畑一文、児玉公輝、荒田恭平
出水総合医療センター	3	古田正成、溝下育男、元村重吉
霧島市立医師会医療センター	3	平賀真雄、福元 健、池田隆太
出水郡医師会立阿久根市民病院	3	高野亮一、児玉 遼、中尾紗綾
鹿児島大学病院	2	藤崎拓郎、佐々木雅史
寺田病院	2	春口良久、永野喜之
いちき串木野市医師会立脳外科センター	2	灰床利隆、児玉唯史
川内駐屯地業務隊衛生科	2	宮脇浩美、川西義浩
今給黎総合病院	1	新村栄次
霧島記念病院	1	小浜 剛
新門整形外科	1	東條昌樹
長島町国民健康保険鷹巣診療所	1	田中義朗
湯田内科病院	1	宮脇明光
若松記念病院	1	小林正剛
川薩保健所	1	榮村仁史
花牟礼病院	1	堀口義信
南洲整形外科	1	東 聡司
自宅	1	富吉 司
丸田病院	1	岡野三男
宮之原循環器科内科	1	中原大輔
渡辺病院	1	田畑諒二

### 【メーカー】 2名

富士フィルムメディカル 松下靖彦

コニカミノルタヘルスケア 田中裕介

## 高齢化の進展に対応した安全で確実な医用画像検査の確立に向けて

鹿児島大学医学部歯学部附属病院 臨床技術部放射線部門 佐々木雅史

### [背景・目的]

CT や MRI などの画像検査を安全に行うためには、各々の患者がどのような要因を持っているかを知り、リスクや難易度を予測して撮影業務を行う必要がある。患者の身体機能や理解度などによって、画像検査に要する時間や診療放射線技師の労力には大きな差異が生じる。この差異は、検査のリスクや難易度に繋がる。今回、CT 検査、MRI 検査を受けた患者の中で、件数が多かった DPC コードを持つ患者について、高齢者と非高齢者の入院期間における看護のケア量を分析し、ケア時間が多かった高齢患者に対応した安全で安心な医用画像検査の確立を目指して検討を行ったので報告する。

### [方法]

#### 2-1. 看護ケア量と看護ケア時間の分析

期間：2010年4月1日～2011年3月31日

対象：上記期間に鹿児島大学医学部歯学部附属病院医科系の入院患者に実施された CT 検査、MRI 検査について、件数の多かった DPC コード（14 桁）を持つ患者を抽出した。

方法：1) 上記条件を有する DPC コードを持った高齢者と非高齢者の 2 群について、看護ケア分類の内訳を明らかにし、1日あたりの看護のケア時間、平均値を求めた。

2) 上記条件を有する DPC コードを手術の有無によって分類し、高齢者と非高齢者について看護ケアの内訳を明らかにし、1日あたりの看護のケア時間、平均値を求めた。

なお、CT 検査、MRI 検査の件数が多い DPC コードであっても、高齢者、非高齢者の数がそれぞれ 10 例に満たないものは対象から除外した。看護ケア量とは、患者 1 人あたりに必要な看護ケア時間に基づく、標準的な看護業務量を算出したものである。看護ケア分類の項目は「日常生活」、「測定」、「観察」、「診療介助」、「教育・指導」、「調整・連絡」、「IC（インフォームドコンセント）支援」の 7 つとした。

#### 2-2. 日常生活動作における患者要因の分析

2-1. で明らかにした件数の多い DPC コードの患者における、日常生活動作の要因として輸送区分と自由度について、高齢者、非高齢者にどのような違いがあるかを明らかにした。

輸送区分：「担送：担架、ストレッチャーなどで移送が必要な状態」、

「護送：付き添い、見守り指示が必要で、肩貸しや車椅子などによる移送が必要な状態」、

「独歩：独りで移動できる状態」

自由度：「Ⅰ：常に寝たまま」、「Ⅱ：ベッドで体を起こせる」、「Ⅲ：病院内歩行ができる」、「Ⅳ：日常生活はほとんど不自由がない」

また、統計処理として、Mann Whitney の U 検定を用いて解析した。

### [結果]

#### 3-1. 同一 DPC で 20 例以上あったもの

高齢者、非高齢者の数が共に 10 例以上で、件数が 20 例以上ある DPC は、CT では脳腫瘍頭蓋内腫瘍摘出術処置 2 なし、肺の悪性腫瘍手術あり処置 2 なし、間質性肺炎手術処置なし、頻脈性不整脈・

経皮的カテーテル・心筋焼灼術処置2なし、全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患手術なしの5つだった。MRI では脳腫瘍頭蓋内腫瘍摘出術処置2なし、頻脈性不整脈・経皮的カテーテル・心筋焼灼術処置2なしの2つだった。

3-2. 1入院あたりの看護ケアの内訳

1) CT 検査を受けた患者の看護ケア量

図1に、CT 検査を受けた患者の各群の1入院あたりの看護ケア量の内訳を示す。ケア項目はいずれのDPC 群も日常生活の援助、診療介助、測定の3つが大部分を占めていた。中でも、日常生活援助について4つのDPC 群では、高齢者の占める割合が非高齢者より大きくなった。また、手術の有無について見たところ、手術なしの群では診療介助では高齢者の占める割合が非高齢者よりも大きかったが、日常生活の援助、測定では非高齢者の占める割合が高齢者よりも大きかった。

2) MRI 検査を受けた患者の看護ケア量

図2に、MRI 検査を受けた患者の各群の1入院あたりの看護ケア量の内訳を示す。CT と同様、2つの群いずれも日常生活の援助、診療介助、測定の3つが大部分を占めており、日常生活の援助は高齢者の占める割合が非高齢者より大きいことが分かった。

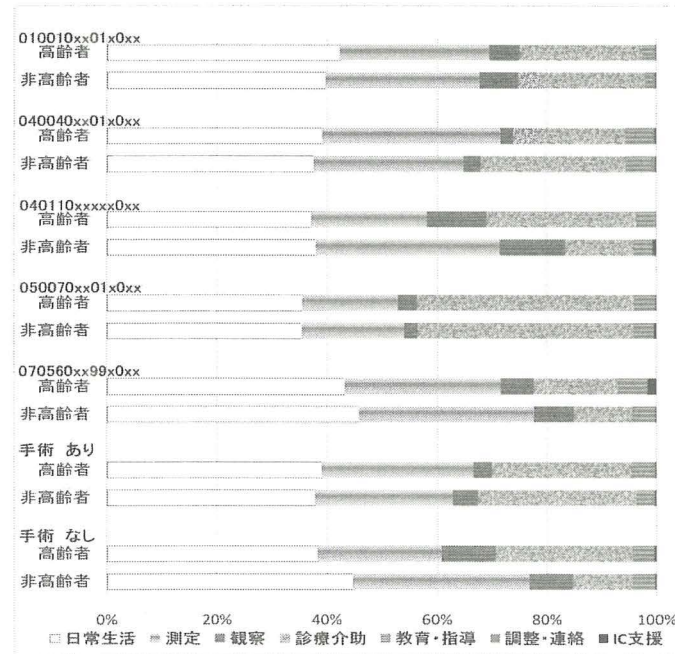


図1. CT 検査を受けた患者の看護ケア量の内訳

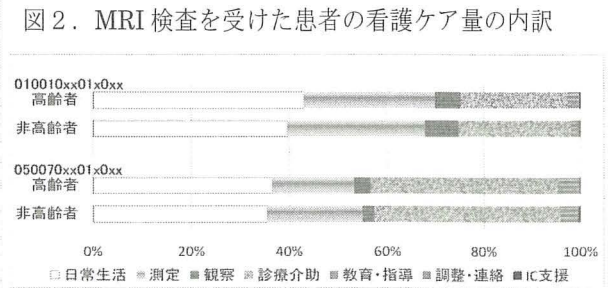


図2. MRI 検査を受けた患者の看護ケア量の内訳

3-3. 1患者1日あたりの看護ケア分類と平均看護ケア時間の内訳

1) CT 検査を受けた患者の看護ケア時間

表1に、CT 検査を受けた患者の1患者1日あたりの看護ケア時間の平均値の内訳を示す。ケア時間はいずれも日常生活の援助、診療介助、測定の3つが大部分を占めていた。1患者1日あたりの合計は4つのDPC 群において、高齢者の方が非高齢者よりケア時間の合計が大きくなった。また、手術の有無について見たところ、手術あり群の方が高齢者、非高齢者ともに1日あたりの看護ケア時間の合計が大きく、かつ高齢者と非高齢者の比較においては、高齢者の方がケア時間の合計が大きくなった。

2) MRI 検査を受けた患者の看護ケア時間

表2に、MRI 検査を受けた患者の1患者1日あたりの看護ケア時間の平均値の内訳を示す。ケア時

間はいずれも日常生活の援助、診療介助、測定の3つが大部分を占めており、1患者1日あたりのケア時間の合計は、いずれも高齢者の方が非高齢者より大きくなった。

		日常生活	測定	観察	診療介助	教育・指導	調整・連絡	IC支援	計
010010xx01x0xx	非高齢者	42.9	33.2	7.7	26.7	1.9	0.5	0.3	113
	高齢者	49.3	37.6	8.9	31.1	2.3	0.5	0.1	130
040040xx01x0xx	非高齢者	50	36.1	3.5	34.2	6.4	0.9	0.3	131
	高齢者	55.9	45.3	2.9	30.1	7.6	0.5	0.5	143
040110xxxxx0xx	非高齢者	26.9	24.8	7.9	8.1	3.1	0	0.5	71
	高齢者	35.7	20.3	9.3	17.1	3.4	0.1	0.1	86
050070xx01x0xx	非高齢者	47.1	24.9	3.2	50.4	5.5	0	0.7	132
	高齢者	49.2	23.9	3.7	52.9	5.4	0	0.4	136
070560xx99x0xx	非高齢者	32.8	23.8	5	7.8	3.2	0	0.3	73
	高齢者	29.8	20.6	4.4	8.9	3.6	0	0.7	68
手術 あり	非高齢者	46	30	4.9	39	4.4	0.3	0.5	125
	高齢者	53	37	4.3	37	5.9	0.4	0.4	138
手術 なし	非高齢者	31	24	5.8	7.9	3.2	0	0.4	72
	高齢者	34	20	7.5	14.1	3.5	0	0.3	79

表1. CT検査を受けた患者の1患者1日あたりの看護ケア時間の平均値の内訳

		日常生活	測定	観察	診療介助	教育・指導	調整・連絡	IC支援	計
010010xx01x0xx	非高齢者	43	34	7.7	27	1.8	0.4	0.3	114
	高齢者	51.3	37	8.3	30.4	2.2	0.4	0.1	130
050070xx01x0xx	非高齢者	46	25.2	3.1	49.4	5.1	0	0.6	114
	高齢者	50	23.1	3.6	51.3	5.7	0	0.3	130

表2. MRI検査を受けた患者の1患者1日あたりの看護ケア時間の平均値の内訳

### 3-4. 日常生活動作における患者要因の分析

#### 1) CT検査を受けた患者の自由度及び輸送区分

図3、4に、CT検査を受けた患者の自由度及び輸送区分の内訳を示す。「日常生活はほとんど不自由がない」について、1つのDPCを除いた4つの群では高齢者が非高齢者より占める割合が大きくなった。また、手術の有無について見たところ、手術あり群の方が高齢者、非高齢者ともに日常生活に不自由がない項目の割合が小さく、かつ高齢者と非高齢者の比較においては、高齢者の方が割合は小さいことが分かった。輸送区分の内訳では、「独歩」について、1つのDPCを除いた4つの群では高齢者が非高齢者より占める割合が大きいたことが分かった。また、これらの群では高齢者がいずれも「担送」、「護送」で半分以上を占めていた。また、手術の有無について見たところ、手術あり群の方が高齢者、非高齢者ともに独歩の割合が小さく、かつ高齢者と非高齢者の比較においては、高齢者の方が独歩の割合が小さいことが分かった。

#### 2) MRI検査を受けた患者の自由度及び輸送区分

図5、6に、MRI検査を受けた患者の自由度及び輸送区分の内訳を示す。「日常生活はほとんど不自由がない」について、いずれのDPC群も高齢者が非高齢者よりも占める割合が小さい傾向にあることが分かった。輸送区分の内訳では、「独歩」について、いずれのDPC群も、高齢者の方が非高齢者よりも占める割合が小さい傾向にあることが分かった。

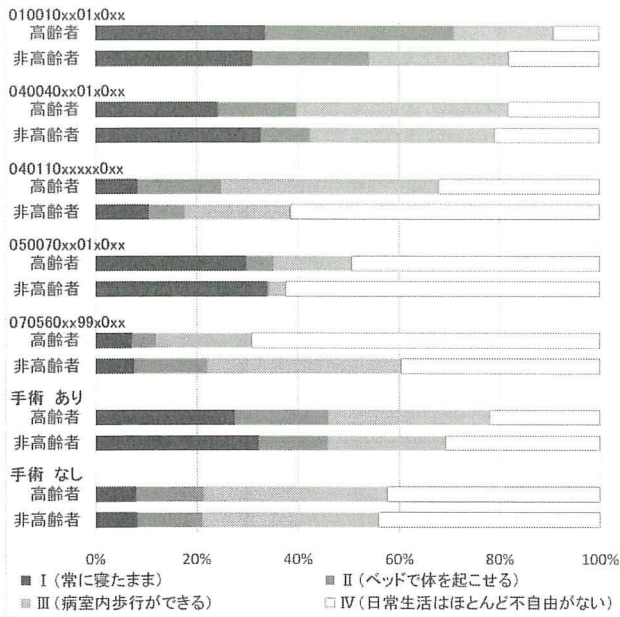


図3. CT検査を受けた患者の自由度の内訳

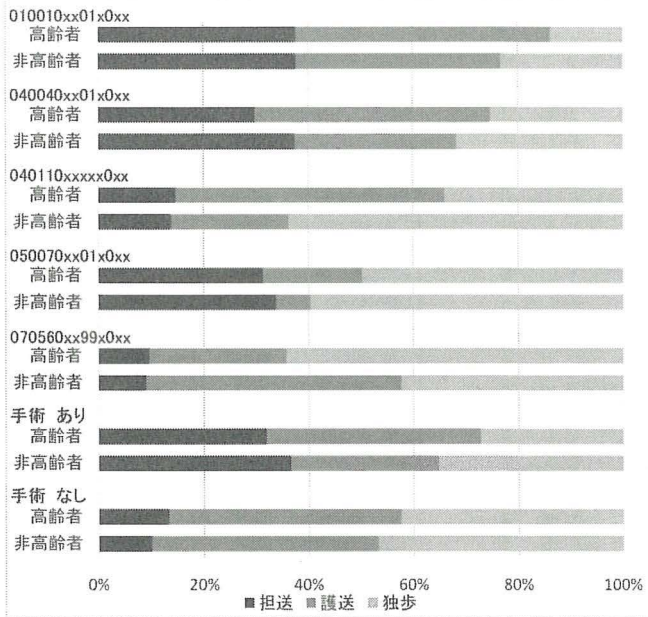


図4. CT検査を受けた患者の輸送区分の内訳

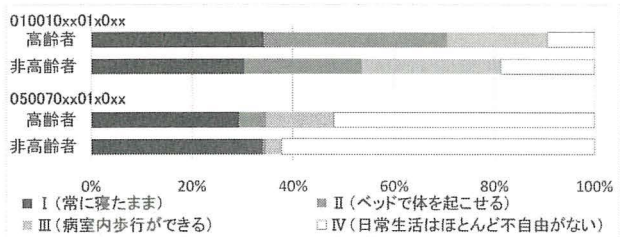


図5. MRI検査を受けた患者の自由度の内訳  
[考察およびまとめ]

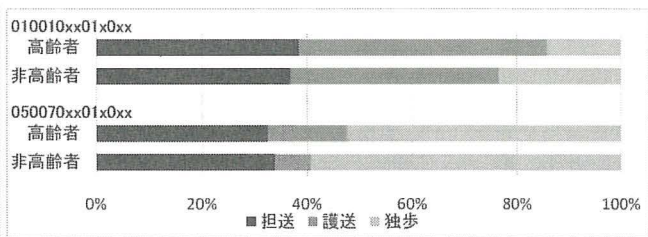


図6. MRI検査を受けた患者の輸送区分の内訳

CT検査における件数の多かったDPCを有する患者について分析した結果、高齢者の方が非高齢者よりも1日あたりの看護ケア時間が多いという傾向にあることが分かった。また、日常生活動作の自由度や輸送区分の項目においても、独立してできる患者の割合は、非高齢者よりも高齢者の方が少なかった。さらに、手術ありとなしの群においては、手術あり群の方が高齢者、非高齢者ともに1日あたりの看護ケア時間が多かった。また、高齢者と非高齢者を比較しても、高齢者の方がケア時間は多かった。

MRI検査における件数の多かったDPCを有する患者について分析した結果、いずれにおいても高齢者の方が非高齢者よりも1日あたりの看護ケア時間が多かった。また、自由度や輸送区分の項目においても、独立してできる患者の割合は非高齢者よりも高齢者の方が少なかった。

これらの結果より、高齢患者の方が、検査室での患者の移動、ポジショニング、検査の説明、検査中の患者のモニタリング等に、より注意を払わなければならないことが分かった。

今後、これらの手間暇がかかる高齢患者が増えていく中で、高齢患者の要因や看護のケア量を系統的に蓄積することで、各モダリティの検査におけるリスクや難易度を予測できることが示唆された。患者の特性を正確に把握することで、これらの要因を持った入院患者を検査室に呼び出すタイミングや、スタッフの適正配置ができるような業務体制を再構築することが可能となることが分かった。また医療安全上、あるいは撮影業務の効率化などのマネジメント力の向上、さらには患者の視点に立った検査を提供する可能性が期待できる。

# 半月板損傷の診断におけるMRIの有用性

## ～関節鏡所見との比較～

医療法人くすのき会 新門整形外科 診療放射線課 東條 昌樹 岩下 道子  
 整形外科 湯浅 伸也 新門 裕三

### 1. はじめに

近年、半月板損傷の診断は臨床症状、理学所見に加えて、MRI画像診断を用いて総合的に診断している。ただし、損傷部位や形態の詳細な把握は困難な場合がある。

関節鏡機器：ジンマー社製 リンバテック

### 5. 方法

術前のMRI画像所見の形態と関節鏡による直視の形態所見を、比較検討した。

### 2. 目的

今回、当院で膝関節のMRIを行った後、関節鏡手術を施行した症例について、MRI画像所見と関節鏡所見を比較検討し、MRIの有用性を評価した

### 5. 結果

### 3. 対象

期間：H23年1月～12月までの1年間に膝関節MRIを行った428例中、関節鏡を施行した65例。

男性：29例、女性：36例の計65例。

年齢：16～78歳（平均56.4歳）

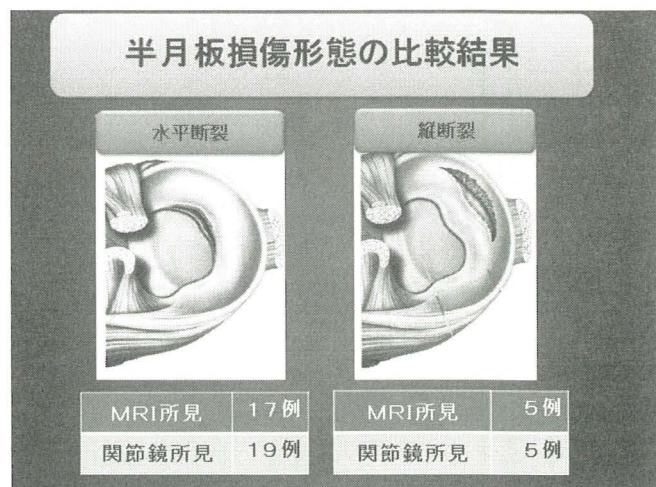
関節鏡を施行した65例の術前MRI診断

- ・内側半月板単独損傷 42 例
- ・外側半月板単独損傷 8 例
- ・内・外側半月板損傷 15 例

### 4. 使用機器

MRI：日立 AIRIS-MATE0.2T

撮影条件：矢状断，冠状断のT2\*強調像で撮影。TR:500, TE:23.0, FA:30°, FOV:200, matrix 256×256 スライス厚:3.0mm / 1.0mm



### 半月板損傷形態の比較結果

バケツ柄断裂		円板状半月板断裂	
MRI所見	8例	MRI所見	5例
関節鏡所見	8例	関節鏡所見	5例

### 症例② 【41歳, 男性, 右膝, 内側半月板単独損傷】

T2\*強調像 冠状断像

鏡視下所見

術前MRI : 横断裂  
関節鏡所見 : 弁状断裂  
自由縁部が捲れていた

T2\*強調像 矢状断像

### 半月板損傷形態の比較結果

横断裂		弁状断裂		変性断裂	
MRI所見	3例	MRI所見	2例	MRI所見	11例
関節鏡所見	14例	関節鏡所見	12例	関節鏡所見	17例

### 症例③ 【51歳, 女性, 左膝, 内側半月板単独損傷】

T2\*強調像 冠状断像

鏡視下所見

術前MRI : 水平断裂  
関節鏡所見 : 横断裂

T2\*強調像 矢状断像

### 症例① 【20歳, 男性, 左膝, 外側半月板単独損傷】

T2\*強調像 冠状断像

鏡視下所見

術前MRI : 縦断裂  
関節鏡所見 : 縦断裂

T2\*強調像 矢状断像

### 症例④ 【56歳, 女性, 左膝, 内側半月板単独損傷】

T2\*強調像 冠状断像

鏡視下所見

術前MRI : 横断裂  
関節鏡所見 : 変性断裂

T2\*強調像 矢状断像

## 6. 考 察

①スポーツ外傷のような新鮮な半月板損傷は関節鏡の直視から分かるように、断裂部がはっきりとしており、MRI診断からも断裂の形態は整合性があるのではないかと考える。

②弁状断裂は、自由縁部が捲れ込んでいたり、陥頓しやすく、損傷形態を立体的に捉えるのは、直線的なスライスでは難しいと考える。

③半月板は曲率を持つ構成体であり、断裂部がスライス間に存在する場合、もしくは、スライスに対して接線方向に近い角度である場合は断裂像として描出されにくいと思われる。

④断裂方向に対して、スライスが直方向もしくは平行方向であれば、損傷形態も断層像として整合性を得られる可能性があるのではないかと考える。加齢に伴う変性断裂は、複雑な損傷を合併しており、MRI画像からは形態の質的な診断は難しい場合があると考える。

⑤半月板損傷を呈してから、加齢とともに損傷部位が変性を伴うと、関節鏡所見でも複雑な損傷を合併しており、MRIによる形態の質的な診断は難しい場合があると考える。

## 7. 結 語

ルーチン撮影での矢状断、冠状断では関節鏡所見と損傷形態の整合性がない場合があった。撮影する立場にある診療放射線技師は、直視下の所見をフィードバックしてMRIと比較し、経験と知識から損傷形態をイメージして、ルーチンとは違った撮影(今回は取り組んでないが斜位など)をする工夫が必要ではないかと思う。

## 頭頸部MRAに於いて偽陽性所見を呈した一症例

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター  
診療放射線部 児玉唯史

今回、頭頸部MRAに於いて偽陽性所見を呈した症例を経験したため報告する

### 方法

現在当院では、MR装置としてGE社製超電導1.5テスラ Signa HDxtが昨年2月28日より稼働しております。今回の症例はこのMR装置が稼働直後に経験した症例出会ったということを付記する。撮影条件はTR 27msec TE 3.5msec FlipAngle 17° スライス厚 1.2mm Matrix 288×160 ImageOption(FatSat, ASSET, FlowCompensation)であった。

### 症例

患者:83歳 男性

主訴:左上下肢一過性麻痺

既往症:多血症

家族歴:特記事項無し

現病歴:左上下肢一過性麻痺にて他院受診。右半卵円中心に陳旧性の脳梗塞の診断されるもTIA頻発するため当院紹介に至った。

初診時神経学的所見:

初診時検査所見:当院来院時3D-TOF MRAにおいてMRA上内頸動脈起始部、また頭蓋内ではC5に於いて狭窄様の信号低下が認められたのみで、右内頸動脈が描出された。図1A,B

T2強調画像とT2FLAIRにおいてFlow voidの消失と血管内に高信号が確認できた。図1C,Dまた、右半卵円中心に陳旧性の脳梗塞が認められた。図1E,F

DWIでは内頸動脈に高信号及び右半卵円中心に陳旧性の脳梗塞がT2強調画像及び

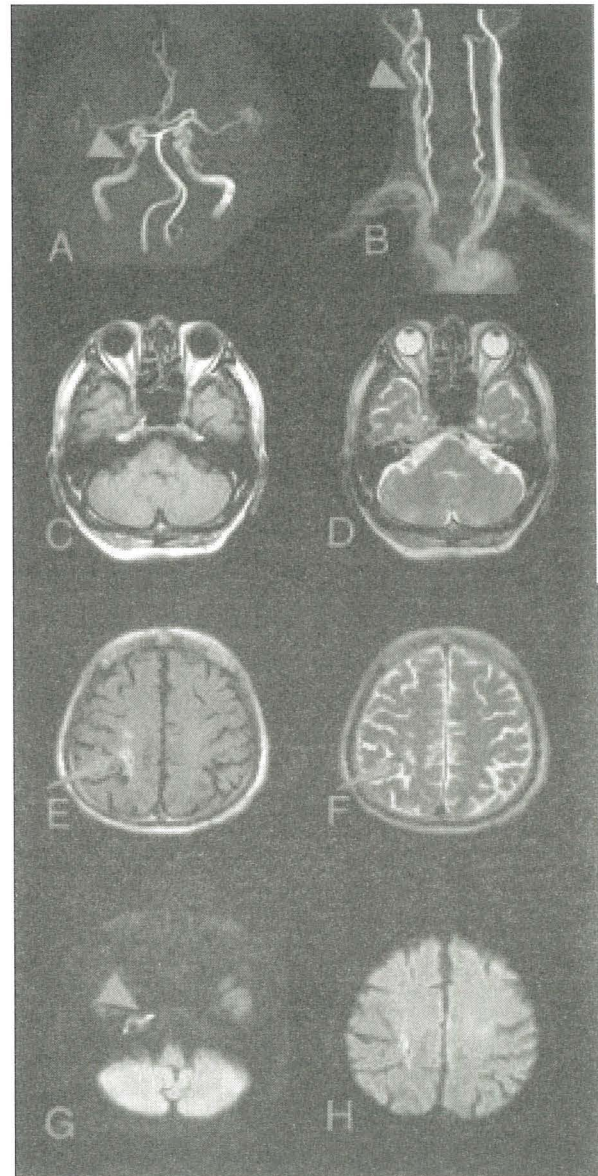


図1

T2FLAIRと合致した部位に認められた。

図1G,H

同日に撮影したエコー画像では内頸動脈への血流は確認できず、MRAとの相関を検証するため脳血管撮影を行った。図2A,B 脳血管撮影を行ったところ総頸動脈から内頸動脈起始部への血流は確認できなかつ

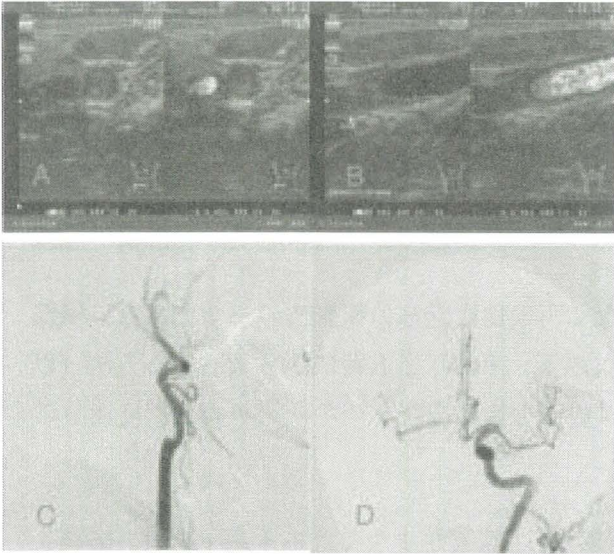


図2

た。また、右中大脳動脈は左総頸動脈からの撮影において前交通動脈を介して流入していることが確認できた。図2C,D

経過:

当院初診時より30日経過時のT2強調画像での右内頸動脈に於いて30%の信号強度の低下がみられ、1年後の同部位において当院初診時より高い信号値を示した。また、MRA上では時間経過とともに血管像の消失が確認された。

診断名:

アテローム血栓性脳梗塞によるTIA  
右内頸動脈閉塞症

#### 考察

内頸動脈の閉塞した時期がTIAを発症した時期と想定すると、約3週間経過した当院初診時のMRAでは血腫がメトヘモグロビン化しており、メトヘモグロビンは常磁性体であり著名なT1短縮効果を示すためT1強調画像及びMRAにて高信号化する。また、内頸動脈内の血栓が溶解し、赤血球が赤血球内膜破壊によるメトヘモグロビンの血球外流出、浮腫性変化によってT2強調画像にて高信号している時期であったと考えられた。また、一年後のT2強調画像に

て高信号化している時期であったと考えられた。また、一年後のT2強調画像での血管内の高信号は器質化した血栓であったと考えられた。

当院においてMRAの撮影プロトコルは形態的描出、データ収集時間におけるメリットを鑑み3D-TOF法を標準のプロトコルとしている。今回の症例において3D-TOF法では、T1短縮効果を受け偽陽性所見を呈する可能性がある。動脈の血栓化の判定はT1強調画像やT2強調画像でTEを延長させたり、血流の上流に飽和パルスを加えるなどの方法があるが、現在当院ではMRAを撮影する際、Localizer-PCを撮影している。これは通常位置合わせの目的で使用しているが、これを利用することにより少なくとも血流の有無について判断できるのではないかと考えられた。

#### 結語

今回、血栓化した内頸動脈のMRI、MRAの経時的変化を報告した。今回の症例はMRAのみでは閉塞した右内頸動脈と交通している左内頸動脈の信号差が殆ど無く、内頸動脈の閉塞はしばしば経験するところですが、これほど差がない症例は稀有であった。

このような症例では、閉塞の発症時期による画像所見の変化を考慮し、適切な撮影条件を検討・撮影を実施する必要があり、Localizer-PCを追加することによりルーチン撮影での類似症例の所見を見出す一助となりうると考える。

また、閉塞した内頸動脈がリアルタイム血栓化していく過程が観察できたことは有意義であったと考える。

## 胸骨正面撮影の検討

霧島市立医師会医療センター 放射線室  
池田 隆太

【背景】 当院での胸骨正面撮影は、撮影件数も少なく再現性に乏しい撮影法の一つである。撮影法には左背側から X 線束を入射する方法（以下、I 法）と右背側から入射する方法（以下、II 法）が一般的で、実際の撮影時には最適な撮影法が I 法か II 法かの選択に迷うこともある。

【目的】 再現性のある胸骨正面像を得るために、個体差の影響が少なくなる I 法・II 法の最適入射角度を検討したので報告する。

【対象】 当院の胸部疾患などで来られた平成24年8月～10月の CT 画像データを用い、男性15名 女性15名の30名を対象とした。

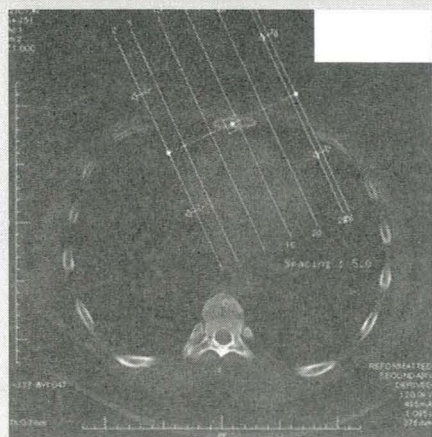
【方法】 胸部 CT データより MPR 画像を作成し、胸骨が心陰影内（I 法）、肺野内（II 法）に描出できる角度を計測し、胸厚での関係を検討する。

### 胸厚

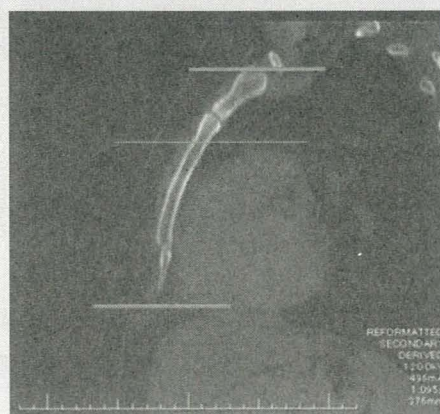


### 【I 法】

胸骨を軸に角度を振り椎体とかぶらない角度を求める。

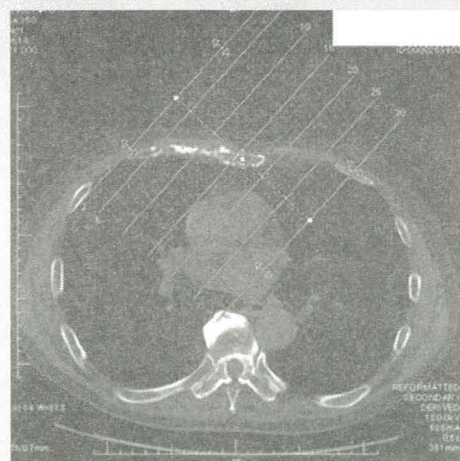


心臓に80%以上かぶる角度を求める。

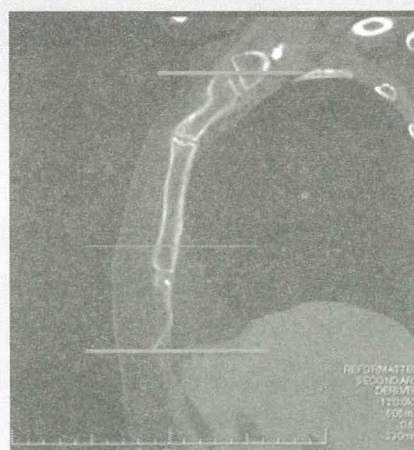


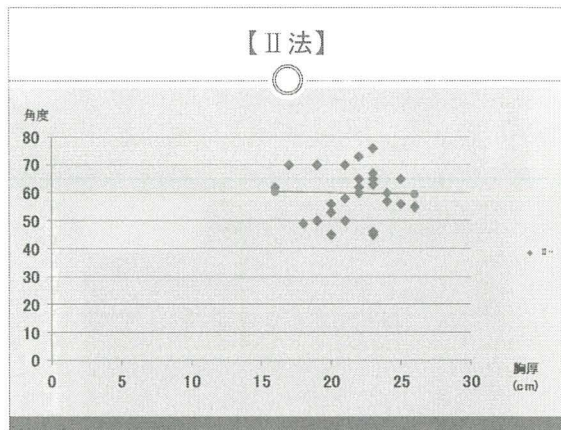
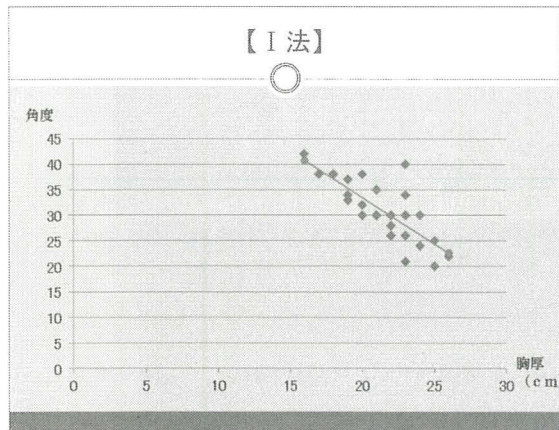
### 【II 法】

胸骨を軸に椎体にかぶらない角度を求める。



胸骨が80%以上肺野内に入る角度を求める。





【結果】 分布図にして表したところⅠ法は個人差はあったが胸厚が厚いほど角度が小さくなる結果になり、Ⅱ法では胸厚とは関係なくばらつきのある分布になる結果となった。

【胸骨正面撮影Ⅰ法】

条件

- 管電圧 60kv
- 管電流 50mA
- mAs値 60mAs
- 撮影距離 80cm
- グリッド 8:1

表面線量 約0.44mGy  
(PCXMC Dose Calculations Version 1.5.2より)

【胸骨正面撮影Ⅱ法】

条件

- 管電圧 72kv
- 管電流 250mA
- mAs値 18mAs
- 撮影距離 120cm
- グリッド 8:1

【考察】 Ⅰ法では胸厚との相関があり、胸骨に対する最適入射角度が確立できた。Ⅱ法では計測した入射角度は、肺野に描出させることはできず、またコントラストがつきにくいということが分かった。今後は胸厚を計測し臨床の場でⅠ法を活用していこうと考えている。

## 冠動脈 CT における $\beta$ 遮断薬の使用経験

川内市医師会立市民病院 医療技術部 放射線課  
沖中 裕幸

### 背景・目的

冠動脈 CT では心拍動によりモーションアーチファクトを生じ、画質の向上には撮影時の心拍が重要となるため、当院では  $\beta$  遮断薬として酒石酸メトプロロールを使用している。そこで 2011 年 7 月に短時間作用型  $\beta$  1 選択性遮断薬ランジオロール塩酸塩が「コンピュータ断層撮影による冠動脈造影における高心拍数時の冠動脈描出能の改善」の効能・効果で販売されたので、今回当院において連続 10 症例に使用したので報告する。

### 方法

2011 年 4 月から 2012 年 3 月までの 1 年間に酒石酸メトプロロールを使用した冠動脈 CT と 2012 年 5 月からランジオロール塩酸塩を使用した連続 10 症例の平均心拍低減数と検査時間、簡便性について比較検討を行った。

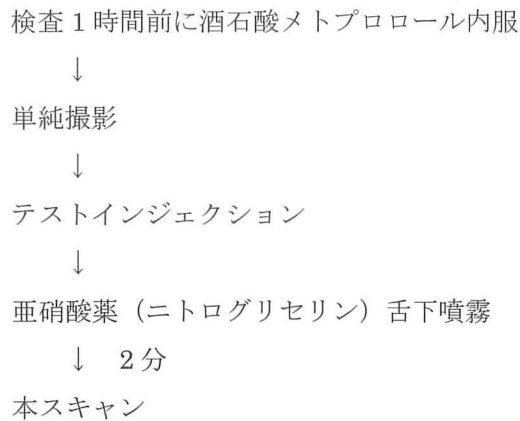
### 使用機器

- ・ CT 装置 Light Speed VCT 64ch (GE ヘルスケア・ジャパン)
- ・ インジェクター Dual Shot GX (根本杏林堂)
- ・ 造影剤 高濃度造影剤 350/70ml ・ 370/100ml

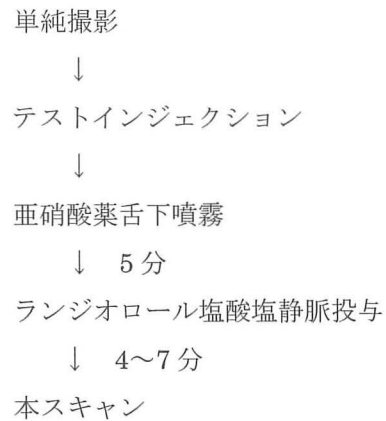
### $\beta$ 遮断薬の比較

- ・ 酒石酸メトプロロール
  - ① 経口薬
  - ②  $\beta$  1 選択性
  - ③ 投与から血中濃度が最大になるまでに 1.9 時間要し、半減期は 2.8 時間とやや長く、6~8 時間後でも効果が見られる。
- ・ ランジオロール塩酸塩
  - ① 静注薬
  - ②  $\beta$  1 選択性
  - ③ 投与直後に心拍数減少作用を示し、15~30 分で消失する、即効性と調節性に優れた  $\beta$  遮断薬で、半減期は 4 分と短い。

酒石酸メトプロロール時のワークフロー



ランジオロール塩酸塩時のワークフロー



検査時間・簡便性の比較

酒石酸メトプロロールは1時間前に内服するが、ランジオロール塩酸塩はDr.コールし、ランジオロール塩酸塩を1分かけて静脈投与し、その後心拍低減がピークになる4~7分後に撮影する。その間にも造影剤からランジオロール塩酸塩へ接続を変更するなど手間が生じてしまう。

検査時間での総時間は酒石酸メトプロロールが約1時間20分、ランジオロール塩酸塩はルート確保も含め約40分となっている。しかしCT室に入室してからになると酒石酸メトプロロールのほうは約20分、ランジオロール塩酸塩は約30分とCT室での検査時間が長くなっている。

酒石酸メトプロロール服用前後の心拍変動

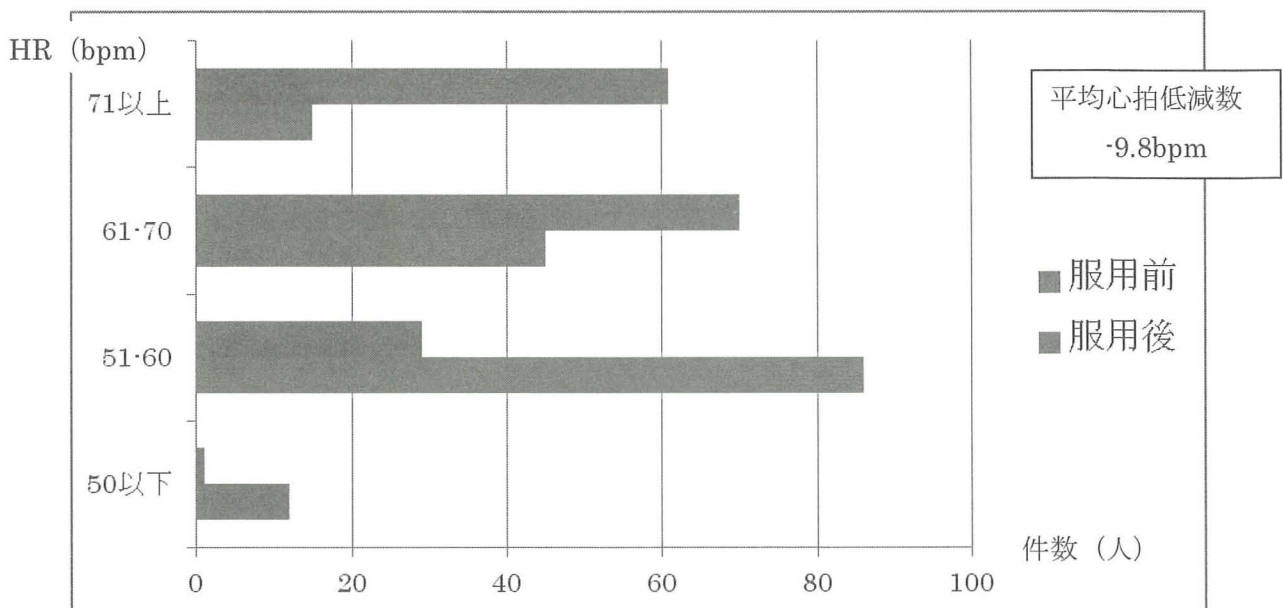


図1 酒石酸メトプロロール服用前後の心拍変動 (2011年4月~2012年3月)

## ランジオロール塩酸塩使用 10 症例

症例	性別	年齢	体重	投与量	投与前 心拍数	8 後最低 心拍数	心拍 変動数	撮影時 心拍数
1	M	77	53	5(※1)	70	71	1	67-71
2	M	38	86	8(※1)	68	57	-11	68-77
3	M	64	75	7.5	68	62	-6	61-63
4	M	68	83	8.5	77	66	-11	53-58
5	M	33	85	8.5	62	54	-8	49-51
6	M	73	75	7.5	62	55	-7	54-55
7	F	81	60	6	75	69	-6	69-79
8	M	61	73	7.5	67	65	-2	63-64
9	M	63	50	0(※2)	—	—	—	—
10	F	63	56	5.5	77	58	-19	53-55

図2 ランジオロール塩酸塩使用 10 症例

平均心拍低減数	-7.6bpm
---------	---------

## まとめ

2つを比較すると、症例数は少ないが平均心拍低減数は近い値をとるため薬効は同程度と考えられるが、即効性・調節性などはランジオロール塩酸塩が優れ、当院では検査時間・簡便性においては酒石酸メトプロロールのほうが優れていることがわかった。

今回症例数は少ないが、ランジオロール塩酸塩は心拍数低下を実感することができた。しかし、当院では検査時間の延長・検査の煩雑化が問題となった。

## 最後に

今後は酒石酸メトプロロールによる心拍数低下が不十分と判断された場合、ランジオロール塩酸塩を追加投与することとした。しかし、この使用基準が明確でないため、冠動脈 CT におけるランジオロール塩酸塩の使用基準を明確にしていきたいと思う。

## 平成 24 年度第 11 回鹿児島支部研修会報告

鹿児島副支部長 隈元 満広

平成 24 年 11 月 17 日（土）南風病院 ANNEXI にて、第 11 回鹿児島支部研修会が会員と非会員を含め 62 名の参加で開催されました。ご多忙の中多数の参加ありがとうございます。この場をかりて支部理事一同お礼申し上げます。

会長挨拶では、県技師会会長池田から公益法人化に向けた準備状況と、技師業務拡大に向けた全国の流れについて説明がありました。そのなかで、看護師の業務拡大で検査指示を出せる項目については、医療法の根源に関わる問題であるという立場から、日本放射線技師会は反対を表明していることも報告されました。

教育講演は根本杏林堂の吉川明史先生より『平成 24 年度診療報酬改正の自動注入器の安全点検について』の法的な解釈と点検時の注意点について講義を頂きました。自主点検でよいかメーカーと保守契約を結ばなければならないかについては、国の方からは、まだ正式に結論は出されていないとのことでした。

特別講演は京都大学防災研究所助教の味喜大介先生より『桜島の火山活動の現状と防災について』講演を頂きました。現在の桜島は地下のマグマの圧力がどんどん溜まってきており、状況としては大正の大爆発と類似しているとのことでした。会場から小規模爆発が頻発していれば大きな爆発にはつながらないのではないかとの質問が出されましたが、桜島は確かに小規模爆発を頻発させているが、地下の圧力は確実に上昇してきているので、これには該当しないという説明がされました。

会員発表では 6 施設から演題の発表がありました。鹿児島生協病院隈元技師からは『技師レポート配信の取り組み』について、技師の読影補助業務の先進的な取り組みとして紹介されました。今給黎総合病院小谷技師からは『CR 撮影時のアーチファクトの検討』について、縞模様のアーチファクトの原因精査と対策についてでしたが、これは日常的に我々がよく経験することなので非常に参考になりました。鹿児島赤十字病院当房技師からは『脳内血腫に対する内視鏡下血腫除去術の術前計測について』、内視鏡下で血腫除去を行う施設はまだ少なく、CT を利用した計測法は他施設の参考になると思われました。鹿児島医療センター寺園技師からは『頭部 CTA サブトラクションにおける骨除去能と閾値の検討』で、患者被ばく低減に向けた有意義な検討内容でした。鹿児島厚生連病院梅北技師からは『当院におけるヨード造影剤の副作用について』、造影剤の種類別、ステロイド前投薬の効果、性別での副作用の発生率の違いについてデータが提示されました。

造影剤の種類別で有意な差が出ていたことには興味を持たれました。南風病院吉野技師からは『認知症診断アミロイドPETについて』と題し、PETで早期に認知症診断を行うことを目的に検討された報告でした。他施設から、各モダリティの有意義な発表がなされ、とても有意義であった。

平成23年度は県技師会の公益法人化の準備もあり、鹿児島支部として定期開催が出来ませんでした。今後は公益法人として一般の方々への啓蒙をふくめ、支部会員の希望も聞きいれながら、まだ参加されていない技師の方々にも声を掛け、裾野を広げられるよう活動して行きたいと思っておりますので、今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。

## 平成24年度 第11回鹿児島支部研修会

鹿児島県放射線技師会 鹿児島支部

支部長 坂下 周一郎

### 日程

日時：平成24年11月17日 土曜日 14:50～18:00

場所：南風病院 ANNEX I 鹿児島市下竜尾町5-17

#### I 開会の挨拶

14:50

鹿児島県放射線技師会 鹿児島副支部長 隈元 満広

#### II 会長挨拶

14:50～15:00

鹿児島県放射線技師会 会長 池田 睦

#### III 教育講演 15:00～15:30

座長 鹿児島県放射線技師会 鹿児島支部長 坂下 周一郎

「平成24年度診療報酬改定の解釈～自動注入器の安全点検について～」

根本杏林堂 福岡営業所 吉川 明史先生

#### IV 特別講演

15:30～16:30

座長 鹿児島厚生連病院 石山 重行

「桜島の火山活動の現況と防災について」

京都大学防災研究所 助教 味喜 大介先生

休憩 16:30～16:40

#### V 会員発表 16:40～17:40

座長 鹿児島大学附属病院 坂下 周一郎

##### ① 技師レポート配信の取り組みについて

鹿児島生協病院 隈元 満広

##### ② CR撮影時のアーチファクトの検討

今給黎総合病院 小谷 祐樹

##### ③ 脳内血腫に対する内視鏡下血腫除去術の術前計測について

鹿児島日赤病院 當房 太郎

##### ④ 頭部CTA サブトラクションにおける骨除去能と閾値の検討

鹿児島医療センター 寺園 将

##### ⑤ 当院におけるヨード造影剤の副作用について

鹿児島厚生連病院 梅北 陽平

##### ⑥ 認知症診断アミロイドPET について

南風病院 吉野 健

#### VI 支部長挨拶 17:40～17:50

鹿児島県放射線技師会 鹿児島支部長 坂下 周一郎

#### VII 閉会の挨拶 17:50

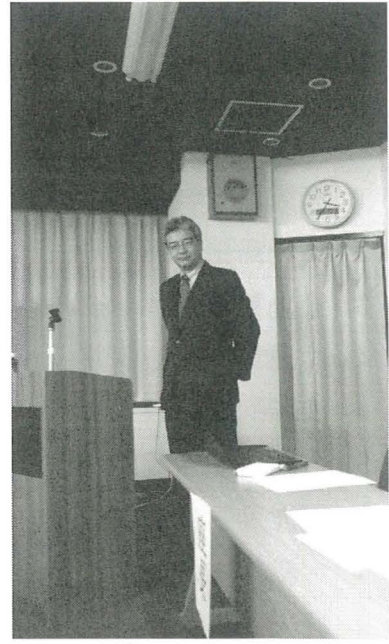
鹿児島県放射線技師会 鹿児島副支部長 隈元 満広



池田会長



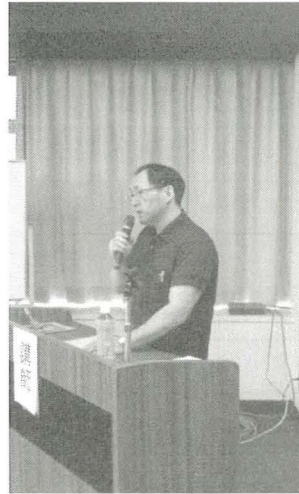
吉川先生



味喜先生



会場風景



隈元技師



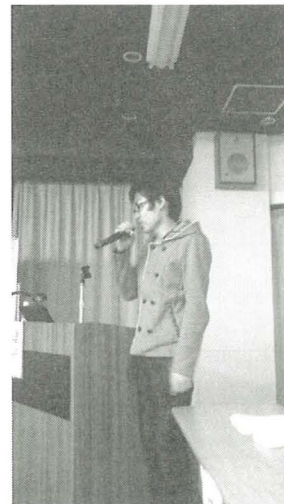
小谷技師



當房技師



寺園技師



梅北技師



吉野技師

## 平成24年度 第11回鹿児島支部研修会参加者名簿

平成24年11月17日

	施設名	氏名		施設名	氏名
1	鹿児島大学病院	藤崎 拓郎	32	今給黎総合病院	林 六計
2	鹿児島生協病院	隈元 満広	33	鹿児島医療センター	室屋 英人
3	鹿児島医療センター	増井 飛沙人	34	鹿児島厚生連病院	西 憲文
4	鹿児島厚生連病院	梅北 陽平	35	鹿児島厚生連病院	中島 さおり
5	南風病院	末永 浩二	36	今村病院	上釜 健作
6	今給黎総合病院	松下 芳正	37	やまびこ医療センター	山口 信夫
7	鹿児島生協病院	猿渡 悠樹	38	鹿児島市医師会病院	内田 一正
8	今給黎総合病院	小谷 祐樹	39	今給黎総合病院	四本 斉
9	鹿児島厚生連病院	石山 重行	40	今給黎総合病院	室屋 純一
10	今給黎総合病院	永山 照明	41	米盛病院	伊藤 大助
11	鹿児島大学病院	吉永 利彦	42	今給黎総合病院	田川 伸夫
12	鹿児島赤十字病院	當房 太郎	43	今給黎総合病院	小屋 俊彰
13	ヲサメ内科クリニック	下園 大介	44	鹿児島厚生連病院	梶 祐幸
14	鹿児島逡信病院	新留 寿	45	鹿児島厚生連病院	蒲地 亮仁
15	鹿児島厚生連センター	中村 道雄	46	メディポリス	西村 美幸
16	南風病院	山下 友也	47	鹿児島厚生連センター	重信 隆彰
17	南風病院	木村 圭佑	48	南風病院	吉野 健
18	南風病院	藤崎 誠	49	鹿児島逡信病院	前田 圭介
19	鹿児島大学病院	池田 睦	50	鹿児島赤十字病院	米山 信司
20	南風病院	久保 幸子	51	南風病院	井ノ上 祐二
21	南風病院	上床 達哉	52	鹿児島大学病院	坂下 周一郎
22	南風病院	柳川 絢海	53	鹿児島厚生連病院	萩原 純久
23	南風病院	高田橋 司	54	鹿児島医療センター	寺園 将
24	河井脳外科	瀬戸口 勲	55	南風病院	三反田 正紀
25	今給黎総合病院	竹之内 学	56	鹿児島大学病院	元日田 調
26	鹿児島医療センター	宮島 隆一	57	コニカミノルタ	宮崎 芳成
27	今給黎総合病院	大迫 良一	58	南風病院	持留 浩輔
28	今村病院 分院	恵 智徳	59	鹿児島厚生連病院	穂山 和章
29	馬場病院	橘木 良幸	60	鹿児島厚生連センター	恒吉 雅也
30	今村病院	直 竜貴	61	南風病院	白石 朋之
31	清泉クリニック	渡邊 義浩	62	鹿児島厚生連病院	大徳 尚司

敬省略

## 平成24年度（社）鹿児島県放射線技師会リーダー育成研修会（開催報告）

平成24年度（社）鹿児島県放射線技師会リーダー育成研修会が、平成24年10月13日（土）15時30分から16時45分まで、ホテルレクストイン鹿児島にて開催されました。

今回は「診療放射線技師教育におけるマネジメントの重要性」～診療放射線技師の質を保證する人事制度～という内容で、済生会熊本病院 中央放射線部技師長 和田 博文先生に講演して頂きました。



和田博文先生からは、最初に、診療放射線技師の卒後教育について、社会人としての教育、医療人としての教育、専門職種としての教育の3つの教育に分けて、その重要性と意義、どのように教育すればよいかのお話がありました。次に、組織活性化のための人事制度について、自施設で実践されている昇格制度と人事評価のお話がありました。管理者が目指す非常に理想に近い教育、組織を運営実践

されていて、とても説得力のある講演となりました。参加者数は、県内各地から会員34名の参加がありました。

最後に、リーダー育成研修会は、施設のリーダー的立場の方だけでなく、将来、先輩として後進を育てるという意味からも、今回の講演も有意義な内容でしたので、来年度も有意義な研修会を企画開催予定ですので、リーダーという名称に臆することなく、多くの会員のみなさんの参加をお待ちしております。

### 【参加者】

伊原 孝志、坂下 周一郎、脇田 慎一、重信 隆彰、永山 照明、井之上 祐二  
 吉永 利彦、中島 祐二、岡野 三男、藤崎 拓郎、原口 誠、大久保 光男、新村 栄次  
 島兒 末治、藤坂 智史、平田 勝、佐藤 洋一、石山 重行、室屋 純一、山口 信夫  
 田川 伸夫、日高 浩文、瀬戸口 勲、上釜 健作、野中 康博、中原 隆重、池田 睦  
 松山 芳郎、濱田 智太郎、淵脇 崇史、直 竜貴、三反田 正紀、吉野 健、渡邊 義治

（順不同、敬称略）

団体名 鹿児島県放射線技師会  
 コーナー名 骨密度測定・放射線相談・展示

### 【実績】

放射線技師会総入場者数：342名

(この中には骨密度測定者及びパネル説明者が重複しています)

### 【参加者内訳】

骨密度測定	241	整理券持参測定者	97
		整理券なしの測定者	144
パネル・資料の説明・放射線相談			101
合計			342

### 【反省・意見】

鹿児島県放射線技師会として、放射線相談、パネル展示のほかに今回は超音波による骨密度測定を行った。骨密度測定は測定に1名/3分程度を要するとして1時間で20名、アリーナ開場から終了までの5時間半で計算して整理券を110枚用意しました。開場と共に来場者が殺到され10分で整理券の配布が終了しました。骨密度測定を事前におられる方が大半であったのでまずは整理券を確保に来られたようでした。

110枚の整理券には番号を記入しその番号に併せて予想される測定時間を書いておき、その時間になったら放射線技師会のブースに来て測定をするというものでした。それまでは会場の他のブースで検診や相談をする事が出来るようにしました。ところが搬入しました骨密度測定器が最新の機器で当初1名/3分と予想していました測定時間が1名/1.5分で済む事になりました。それによって、整理券がない来場者の方も整理券をお持ちの方の合間を縫って測定する事が出来ました。結果として合計で241名の骨密度を測定する事が出来ました。このうち整理券配布の測定者は97名で13名の方が測定に来られませんでした。整理券配布者には場内アナウンスで予定よりも早く測定が出来る旨の案内を申し上げましたが案内が届かなかったようでした。

パネル展示・放射線相談、3Dワークステーションによる人体3D画像の表示等には100名程度の来場者があり、熱心にパネルの閲覧や説明を受けておられました。

今回の事を検討しまして、次年度にまた骨密度測定を行うのであれば、整理券の配布方法や骨密度測定機器の台数等も考慮したいと考えます。



## 平成24年度 診療放射線技師基礎技術講習（MRI 検査）（開催報告）

（公社）日本診療放射線技師会では、診療放射線技師の技術向上と医療安全確保のため、基礎知識の習得を行なうことを目的として、「基礎技術講座」の開催を行なっており、その一環として、今年度は、九州地区として、大分県開催の「消化管撮影」、長崎県開催の「RI」、佐賀県開催の「乳房撮影」に続き、「MRI 検査」を鹿児島県にて下記の日程・内容で開催されました。

講義は、それぞれ第一線で活躍されている先生方のお話で、非常に分かり易く丁寧にお話しされて、受講生からはためになったと好評でした。受講者数は、42名で鹿児島県からはもとより、九州各県や遠くは広島県からの受講生もいらっしゃいました。

来年度は、「一般撮影」を開催予定ですので、多くの会員のみなさまの受講をお待ちしております。

### 【日程及びプログラム】

日 時：平成24年12月2日（日） 8時30分～17時30分

場 所：鹿児島大学医学部臨床講義実習棟2F「第4講義室」

日程：

限	時 間	分	科 目	講 師
	8:30～8:50		受付開始	
	8:50～9:00		開講式	
1	9:00～9:45	45	MR装置	儀間 清昭 (株) フィリップスエレクトロ ニクスジャパン
2	9:50～10:35	45	安全管理	武村 濃 (株) フィリップスエレクトロ ニクスジャパン
		10	休憩	
3	10:45～11:30	45	基礎原理	肥合 康弘 熊本大学医学部
4	11:35～12:20	45	画像評価・性能評価	肥合 康弘 熊本大学医学部
	12:20～13:20	60	昼食	
5	13:20～14:50	90	パルスシーケンスと画像コ ントラスト	小味 昌憲 熊本大学附属病院
		10	休憩	
6	15:00～16:30	90	アーチファクト・脂肪抑制・ 造影剤	浮田 啓一郎 今給黎総合病院
		10	休憩	
7		5	検定説明	
8	16:45～17:15	30	臨床技術能力技能検定試験	
9	17:15～17:25	10	閉講式	

(敬称略)

# 会計だより

平成24年度会費について

## ■正会員会費

九州地域放射線技師会会費	500円
(社)鹿児島県放射線技師会費	7,000円
合計金額	7,500円

鹿児島県放射線技師会会費納入規定により当該年度の会費納入は9月30日までとなっております。

まだ納入されていらっしゃる会員の方は早急をお願いいたします。

## ■準会員会費

(社)鹿児島県放射線技師会費 20,000円

- 振込先は正会員会費と同様です
- 受領証は発行しませんので、振替払込時の払込票で代用していただくようお願い  
します。

- 郵便振替払込の際は下の口座宛までお願いいたします。

[口座番号] 02030-3-12696

[加入者名] 鹿児島県放射線技師会

- 銀行口座振込の際は下の口座宛までお願いいたします

普通預金口座

鹿児島銀行高見馬場支店

口座番号：675652

(備考)

問い合わせ先

鹿児島大学病院臨床技術部 放射線部門

(TEL)099-275-5664 中島まで

※平成25年度より日本放射線技師会費と鹿児島県放射線技師会費が合算請求となります。

請求書は日本放射線技師会より発行されます

会員の皆様への請求のスケジュールは下記の予定となっております。

- ✓ 平成25年2月末～3月中旬 日本放射線技師会より払込票（合算請求書）送付
- ✓ 平成25年4月8日（月） 自動引落日（登録者のみ）

鹿児島県放射線技師会口座への振り込みをされないようお願いいたします。

## 編集後記

会員の皆様ご協力ありがとうございました。鹿児島県放射線技師会がついに公益法人化となります。長い時間がかかりました、やはり定款改正がやっか이었다ようです。同じ時間に会員みんなで集まりました、今になるといい思い出になりました。今後とも会員の皆様ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 理事・監事

役職名	氏名	郵便番号	勤務先/勤務先住所	勤務先電話番号
会長	池田 睦	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664
副会長	新村 栄次	892-0852	今給黎総合病院 鹿児島市下竜尾町4-16	099-226-2211
監事	鮫島 宗俊			
監事	西本 広男			
理事 総務	原口 誠	890-0062	JA厚生連健康管理センター 鹿児島市与次郎1-31-1	099-256-1133
理事 財務	中島 祐二	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664
理事 学術	藤崎 拓郎	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664
理事 学術	石本 裕二			
理事 福利厚生	大久保 光男	895-0005	川内市医師会立市民病院 薩摩川内市永利町4107-7	0996-22-1111
理事 広報	平田 勝	890-0064	鹿児島市医師会病院 鹿児島市鴨池新町7-1	099-254-1125
理事 総務	佐藤 洋一	892-8580	鹿児島市立病院 鹿児島市加治屋町20-17	099-224-2101
理事 総務	藤坂 智史	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664

<p>廣 告 掲 載 一 覧</p>
--------------------

会 社 名	郵便番号	住 所	TEL
バイエル薬品株式会社 診断薬事業部 九州第二営業所	892-0847	鹿児島市西千石町 11-25	099-805-2536
ケアストリームヘルス株式会社 西日本販売促進部 九州エリア担当	812-0016	福岡市博多区博多駅南 1-2-3 KDX 博多ビル	092-413-8460
富士フイルム RI ファーマ株式会社	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目 1 番 1 号 富士フイルム福岡ビル	0992-53-0091
朝日レントゲン工業株式会社 九州営業所	812-0007	福岡市博多区東比恵 2-19-27 静代ビル	092-251-7278
エーザイ株式会社 鹿児島コミュニケーション	890-0053	鹿児島市中央町 12-2 明治安田生命西鹿児島ビル6階	099-254-7890
株式会社 フィデスワン 鹿児島営業所	890-0054	鹿児島市荒田 1-2-9	099-252-3488
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目 29-5	099-268-0010
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0806	鹿児島市鴨池二丁目 15-2	099-253-7397
株式会社 舞研	891-0115	鹿児島市東開町 4-94	099-266-2501
株式会社エルクコーポレーション 鹿児島営業所	891-0122	鹿児島市南栄5丁目 10 番 29 号	099-266-3141
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町 2 番 1 号 (芙蓉ビル3階)	099-805-2005
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町 17-3 太陽生命鹿児島第2ビル 3 階	099-219-9171
株式会社千代田テクノ 川内事務所	895-0027	鹿児島県薩摩川内市西向田町 6-32 (サンビル別館 1 階)	0996-27-7047
株式会社 ドクターネット	321-0112	栃木県宇都宮市屋板町 561-6	28-657-8200



lopamiron<sup>®</sup>  
lopamidol

非イオン性尿路・血管造影剤〈イオパミドール注射液〉


# イオパミロン<sup>®</sup>注

150 300 370 300シリンジ 370シリンジ

処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

薬価基準収載

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む  
使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく



資料請求先

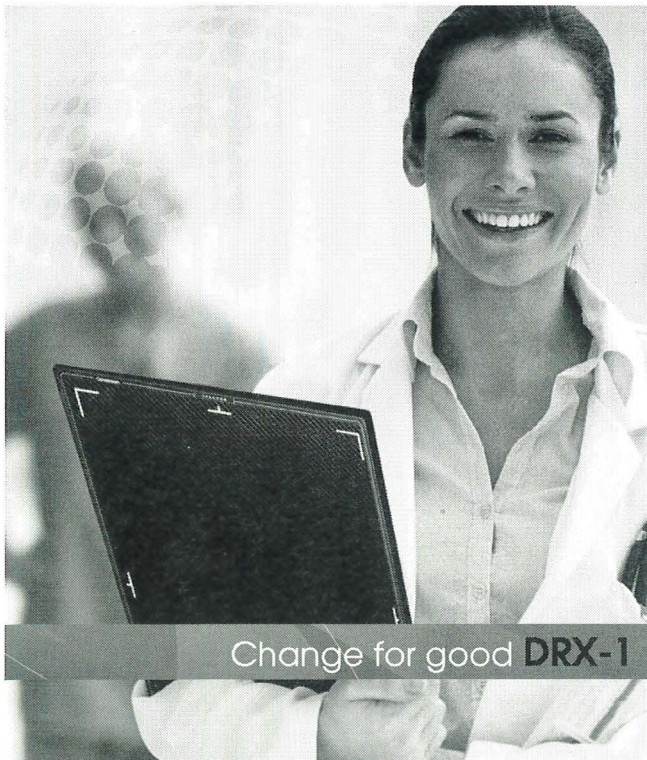
バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<http://www.bayer.co.jp/byl>

(2011年11月作成)

IOP-11-4012



Change for good DRX-1

## Carestream

### Wireless, Smart Operation

DR化への効率的なソリューション。  
すべての理想型がさらに進化しました。

世界初のカセットDR、DRX-1 Systemがさらに進化。

35x43cmの半切カセットと同じサイズなので、お持ちのカセットを  
交換するだけで簡単にDR化を可能にするCarestream DRX-1 System。  
ワイヤレスのため様々なポジショニングが楽にでき、  
画像データはすばやくそのまま無線で転送。  
スピーディー且つ効率的なソリューションがここに完成しました。



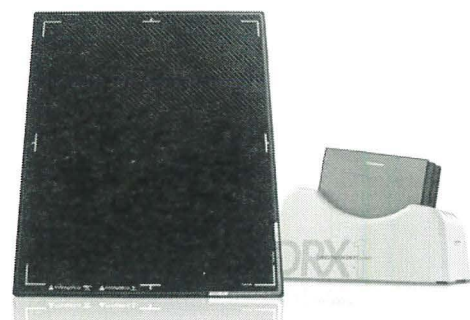
世界初のカセットサイズDR



既設のスタンド・ブッキー台に  
差し込むだけで、DRシステムへ



効率的なワークフローを  
実現するワイヤレス運用



### ケアストリームヘルス株式会社

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-21-6 八丁堀NFビル ☎(03)5540-2260

札幌 ☎(011)252-8072 名古屋 ☎(0561)64-2755

大阪 ☎(06)6534-7090 福岡 ☎(092)413-8460

ホームページ <http://www.carestream.jp>

# FUJIFILM

放射性医薬品／  
骨疾患診断薬・  
脳腫瘍及び脳血管障害診断薬

処方せん医薬品 注意一医師等の処方せんにより使用すること

## テクネ<sup>®</sup> MDP 注射液/キット

放薬基：メチレンジホスホン酸テクネチウム (<sup>99m</sup>Tc) 注射液/注射液調製用

薬価基準収載

★「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」については添付文書をご参照ください。

製造販売元

### 富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル TEL.03(5250)2620  
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

2011年1月改訂



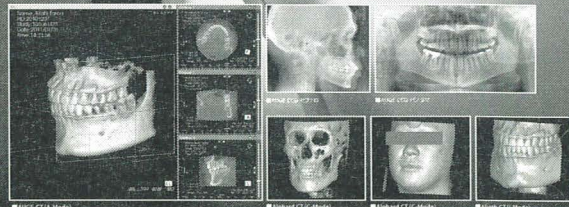
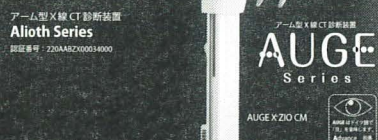
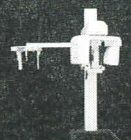
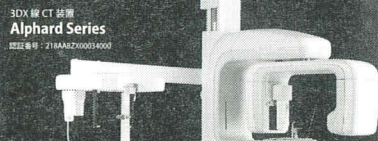
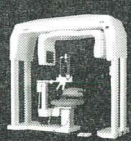
# 新たな感動の創造へ。

### MORE3DSERIES

3次元が盛り出す「優しさ」の進化。

ニーズに合わせた

MORE 3D SERIES のラインナップ



Asahi 私たちの「優しさ」は、進化のために Gentility, it is for evolution.

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### 朝日レントゲン工業株式会社

 URL: <http://www.asahi-xray.co.jp> E-mail: [sales@asahi-xray.co.jp](mailto:sales@asahi-xray.co.jp)

- |          |  |                  |                   |
|----------|--|------------------|-------------------|
| 本 社      | 〒601-8203 京都府京都市南区久世橋山町376-3                 | TEL:075-921-4330 | FAX:075-921-6675  |
| 北海道営業所   | 〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西20-1-27 井門札幌N120ビル 6F | TEL:011-640-7250 | FAX:011-640-7251  |
| 関東第一営業所  | 〒1105-0014 東京都港区芝1-13-16 芝橋ビル3F              | TEL:03-3455-6790 | FAX:03-3454-3049  |
| 関東第二営業所  | 〒1105-0014 東京都港区芝1-13-16 芝橋ビル3F              | TEL:03-3455-6787 | FAX:03-3454-3049  |
| 名古屋営業所   | 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-7-15 50KTビル 6F         | TEL:052-205-6765 | FAX:052-205-6805  |
| 関西営業所    | 〒601-8203 京都府京都市南区久世橋山町376-3                 | TEL:075-921-4330 | FAX:075-921-6675  |
| 大阪ショールーム | 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋2-1-3 御堂筋ダイヤモンドビル 12F | TEL:06-6282-7062 | FAX:06-6282-7063  |
| 四国出張所    | 〒760-0023 香川県高松市寿町1-2-5 井門高松ビル 8F            | TEL:087-813-2235 | FAX:050-3737-3522 |
| 広島営業所    | 〒732-0052 広島県広島市東区光町1-12-20 もみじ広島光町ビル 7F     | TEL:082-568-1520 | FAX:082-568-1570  |
| 九州営業所    | 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-19-27 静代ビル           | TEL:092-451-7278 | FAX:092-451-7283  |

※北海道・関東第一・関東第二・名古屋・関西・広島・九州営業所、四国出張所に、ショールームを併設しております。仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ISO 13485 医療機器品質マネジメントシステム認証取得  
ISO 9001 品質マネジメントシステム認証取得  
ISO 14001 環境マネジメントシステム認証取得

lomeron®

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性造影剤

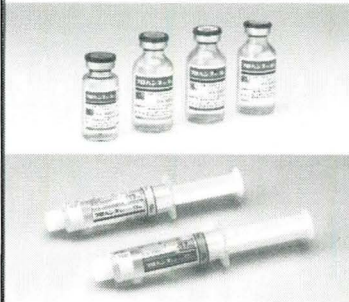
イオメロン® 300 注20mL/50mL/100mL  
350 注20mL/50mL/100mL  
400 注20mL/50mL/100mL

〈イオメプロール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性造影剤

イオメロン® 300 注シリンジ 50mL/75mL/100mL  
350 注シリンジ 50mL/75mL/100mL/135mL

〈イオメプロール注射液〉



処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性MRI用造影剤

プロハンス® 静注 5mL/10mL/15mL/20mL

〈ガドテリドール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性MRI用造影剤

プロハンス® 静注シリンジ 13mL/17mL

〈ガドテリドール注射液〉

ProHance®

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



製造販売元

ブラッコ・エーザイ株式会社  
東京都文京区大塚3-11-6



販売元

エーザイ株式会社  
東京都文京区小石川4-6-10



提携先

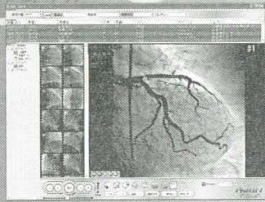
ブラッコ スイス株式会社

製品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン フリーダイヤル 0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

CM1204M02

### 動画像ファイリングシステム

Nahri  
AQUA



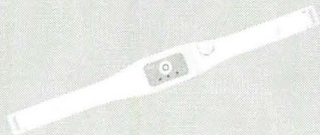
- 循環器/カテ検査・治療にマッチした統合システム
- 高速ビュー&快適な操作で業務効率が向上
- カンファレンス・患者説明に効果大
- 症例データベースから統計出力可能
- 電子カルテ・他システムとも連携可能

(オプション)

- Webでの配信
- カテデータベース連携
- CD専用ビューア書出し機能
- DICOM DIR書出し 自動ライティング機能
- バイオメトリクス認証対応
- LVG解析/QCA解析(Pie Medical Imaging 社製)

### 長時間心電図記録器 EV-101

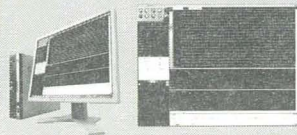
「ホルター心電計」「イベント心電計」  
2つの機能を持った新しい心電計



長時間心電図データレコーダ  
認証番号 222AGBZX00100000  
管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器

### 長時間ホルター心電図解析装置 NEY-HEA1000

心電図波形データを自動解析し、  
手軽に解析編集&レポート出力



ホルター解析装置  
認証番号 223AGBZX00023000  
管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器

### SRPP MONITOR



皮膚再灌流圧を解析

レーザ血流量计&血圧計からの  
データを高精度にモニタリング



MEHERGEN GROUP  
MEDICAL HEALTHY EXAMINING

Fides-ONE

株式会社 フィデスワン  
鹿児島営業所 鹿児島市荒田1-2-9  
Tel 099-252-3488 Fax 099-254-4551

おもいやりをたしかに

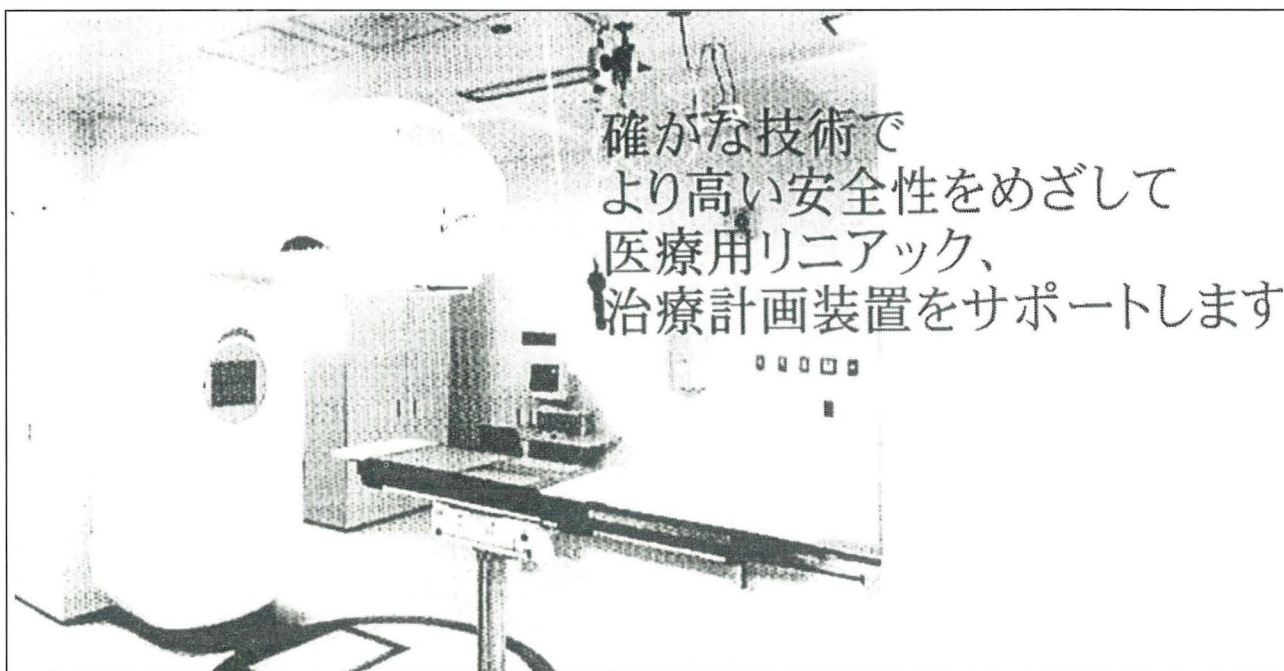


HACHIGOU  
MEDICAL  
INSTRUMENT

株式会社

八郷医療器

〒891-0114 鹿児島市小松原一丁目29-5  
TEL099-268-0010  
FAX099-267-7790



確かな技術で  
より高い安全性をめざして  
医療用リニアック、  
治療計画装置をサポートします

南九州電子サービス株式会社  
<http://www.mkds.jp>

本社 宮崎市広島1丁目1-10 TEL0985-29-8371  
鹿児島 鹿児島市鴨池2丁目15-2 TEL099-253-7397

# BUKEN

www.buken.co.jp

## 株式会社 舞 研

〒891-0115 鹿児島市東開町4-94 TEL 099-266-2501  
FAX 099-266-2601  
sound,lighting,visual,art

株式会社 熊本舞研 株式会社 宮崎舞研

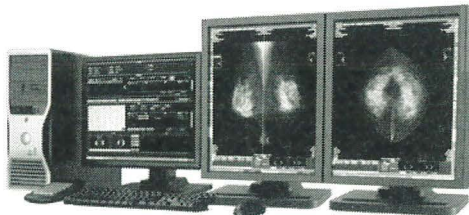
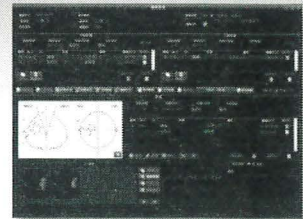
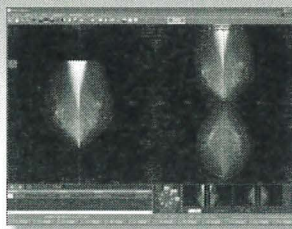


## マンモグラフィ検査の最適な フィルムレス運用をご提案します

マンモグラフィ専用画像診断ワークステーション マーマリー

# mammary

マンモグラフィ専用画像診断ワークステーション マーマリー



- マンモグラフィ専用の数々の機能を標準装備しています
- 読影スタイルに応じたプロトコルを読影者ごとに設定可能です
- ダブルリーディングに対応した所見レポートを準備しています

製造販売元: 株式会社 クライムメディカルシステムズ  
大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号 千里ライフサイエンスセンタービル10階  
・販売名: 「画像診断ワークステーションCIF-391」 ・薬事承認番号「21700BZZ00359000」

キヤノンマーケティングジャパングループ

### 株式会社エルクコーポレーション

営業統括本部

http://www.elkc.co.jp

摂津市庄屋1丁目14番12号

☎ (06) 6382-7009

東京都文京区湯島2丁目17番4号

☎ (03) 3814-8229



●商品に関するお問い合わせは下記まで

札幌 (011) 736-0010・仙台 (022) 236-3621・新潟 (025) 243-6391・さいたま (048) 663-2221  
東京第一 (03) 3814-7851・東京第二 (03) 3814-7850・横浜 (045) 476-2860・名古屋 (052) 531-6231  
金沢 (076) 237-7511・京都 (075) 691-5101・大阪第一 (06) 6382-3787・大阪第二 (06) 6382-8701  
神戸 (078) 651-2601・岡山 (086) 232-6721・広島 (082) 232-1341・福岡 (092) 472-0241  
鹿児島 (099) 266-3141

本社 / 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル9階



いち早く骨病変を検出

処方せん医薬品<sup>※</sup>

放射性医薬品・骨疾患診断薬

薬価基準収載

# クリアボーン<sup>®</sup>注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸  
テクネチウム (<sup>99m</sup>Tc) 注射液

詳しくは添付文書をご参照ください。

注) 注意・医師等の処方せんにより使用すること ㊞: 登録商標



資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号  
http://www.nmp.co.jp/

製品に関する  
お問い合わせ先

0120-076941  
(フリーダイヤル)

## 効能又は効果

骨シンチグラムによる骨疾患の診断

## 用法及び用量

通常、成人には555~740MBqを肘静脈内に注射し、1~2時間の経過を待つて被検部の骨シンチグラムをとる。

年齢、体重により適宜増減する。

## 使用上の注意

1. **重要な基本的注意** 診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与することとし、投与量は最少限度にとどめること。

2. **副作用** 臨床試験及び使用成績調査(全12401例)において副作用が認められた例はなかった(再審査終了時)。

### その他の副作用

	頻度不明 <sup>※</sup>
過敏症	発疹、そう痒感、顔面潮紅、発赤
消化器	嘔吐、悪心、食思不振
循環器	チアノーゼ、血圧低下、徐脈、動悸
精神神経系	てんかん様発作、耳閉感、頭痛、めまい、ふらつき
その他	発熱、気分不良、冷汗、四肢しびれ

※自発報告につき頻度不明

3. **高齢者への投与** 一般に高齢者では生理機能が低下しているため、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること。

4. **妊婦、産婦、授乳中等への投与** 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳中の婦人には、原則として投与しないことが望ましいが、診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

5. **小児等への投与** 小児等に対する安全性は確立していない(現在までのところ、十分な臨床成績が得られていない)。

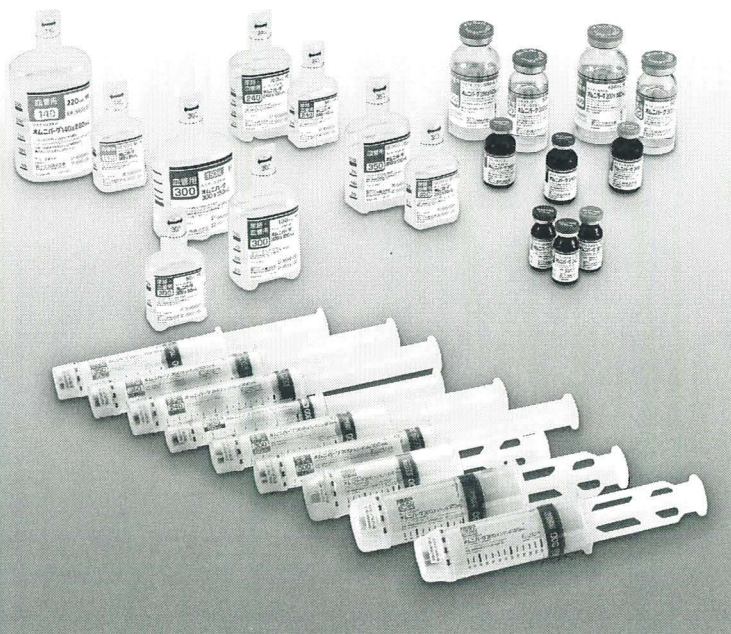
6. **適用上の注意** 骨盤部読影の妨害となる膀胱の描出を避けるため及び膀胱部の被曝を軽減させるため、撮像前後できるだけ排尿させること。

7. **その他の注意** (社)日本アイソトープ協会医学・薬学部放射線医薬品安全性専門委員会の「放射性医薬品副作用事例調査報告書」において、まれにアレルギー反応(発赤)、その他(悪心、発汗など)があらわれることがあると報告されている。

## 包装

555MBq、740MBq、1.11GBq、1.85GBq

2011年2月改訂



140注(血管用) 50mL、220mL

240注(尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL

300注(尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL  
(血管用) 150mL

350注(尿路・血管用) 20mL、50mL

(血管用) 100mL

240注シリンジ(尿路・血管・CT用) 100mL

300注シリンジ(尿路・CT用) 50mL

(尿路・血管・CT用) 80mL、100mL

(CT用) 110mL、125mL、150mL

350注シリンジ(血管・CT用) 70mL、100mL

180注(脳槽・脊髄用) 10mL

240注(脳槽・脊髄用) 10mL

300注(脊髄用) 10mL



OMNIPAQUE

## 非イオン性造影剤

処方せん医薬品<sup>※</sup>

薬価基準収載

# オムニパーク<sup>®</sup>

OMNIPAQUE<sup>®</sup> イオヘキソール注射液

140注	180注	240注	300注	350注
50mL 220mL	10mL	10mL 20mL 50mL 100mL	10mL 20mL 50mL 100mL 150mL	20mL 50mL 100mL

240注シリンジ	300注シリンジ	350注シリンジ
100mL	50mL 80mL 100mL 110mL 125mL 150mL	70mL 100mL

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の  
詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。



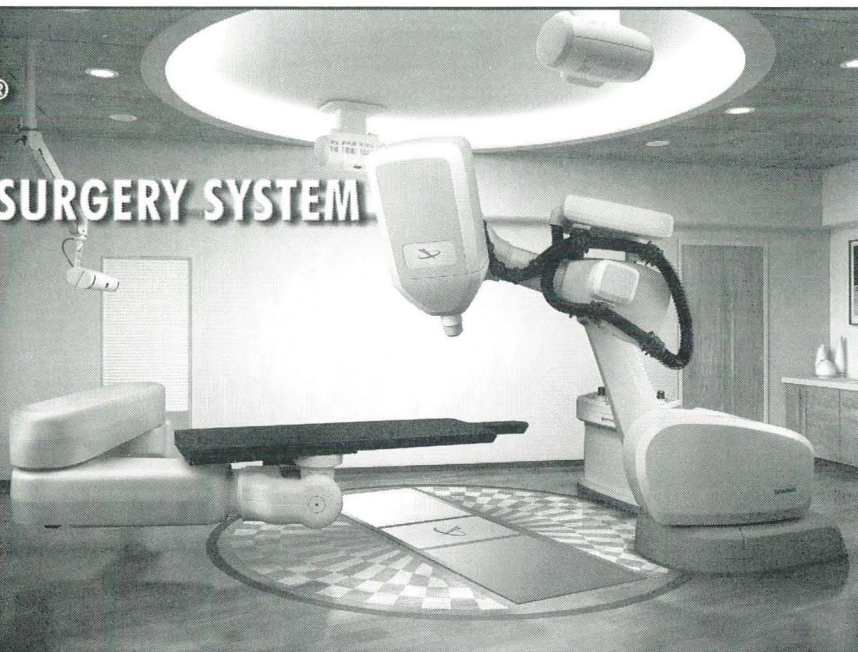
Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

# CyberKnife® ROBOTIC RADIOSURGERY SYSTEM



To make radiosurgery an option for every cancer patient.



株式会社 千代田テクノル

〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 千代田御茶の水ビル TEL03 (3816) 5242 FAX03 (5803) 1990  
www.c-technol.co.jp

## ニーズにあわせて『選べる』遠隔読影サービス

クラウド型遠隔読影ASPサービス

### Virtual-RAD



#### 読影はいまの先生そのまま

ドクターネットはシステムをご提供するだけ。今までどおりの先生に読影してもらえるので安心。

#### 高額な設備投資は不要

クラウド型なので、高価なサーバーの購入は不要。

先生は今のまま。いつでも読影してもらえたら……

遠隔画像診断支援サービス

### Tele-RAD

#### 国内最大級の放射線科専門医集団が読影

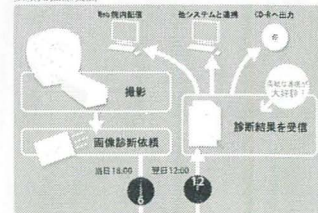
医療機関様からいただいた読影依頼を、140名を超える放射線科医が読影。サブスペシャリティごとの読影で、精度の高い読影レポートをお届けします。

#### 翌日12時返却。至急2時間返却。

午後6時までにいただいた依頼を翌日正午までに返却。至急の依頼は2時間以内に返却。

先生の手が足りない。早くレポートが欲しい……

依頼元医療機関



ドクターネット



株式会社ドクターネット www.doctor-net.co.jp

東京本社 東京都港区浜松町2丁目7-1 第38荒井ビル7階 TEL: 03-3459-5665  
宇都宮本社 028-657-8200 / 大阪事業所 06-4862-5018 / 福岡事業所 092-409-2760





